

無住軒三百箇條

中

多
645
2



門 79
卷



二百箇條中目錄

- 一 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 二 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 三 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 四 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 五 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 六 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 七 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 八 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ
- 九 茶湯のついでにむすねの茶湯とて又茶湯とていふ

十 本よりうへへは有社の一分あり

十一 脇を二寸に作りしひらき長さの定りあり

十二 さうへへはゆふ事あり

十三 金と銀は打らるるひり侍あり

十四 のり細のるふ各乃石まきとのんまき細の作り

十五 雪隠の石は作りあり

十六 雪隠の掃きをのりは作りあり

十七 雪隠の石根をゆきと厚まきと作りあり

十八 手招の石の事

十九 礎をき利体の事ありと根の如く形をいれ作りあり

二十 竈のまき雪をゆきと作りあり

廿一 舟形元の事 石をまき作りありと根の如く形をいれ作りあり 九寸の月外海守の事

舟形元の事

廿二 舟形元の事 根の石をまき作りありと根の如く形をいれ作りあり

廿三 舟形元の事 根の石をまき作りあり

廿四 舟形元の事 根の石をまき作りありと根の如く形をいれ作りあり

廿五 舟形元の事 根の石をまき作りあり

廿六 舟形元の事 根の石をまき作りあり

廿七 舟形元の事 根の石をまき作りありと根の如く形をいれ作りあり

廿八 舟形元の事 根の石をまき作りあり

廿九 舟形元の事 根の石をまき作りありと根の如く形をいれ作りあり

三十 舟形元の事 根の石をまき作りあり

舟

三十一 喜多寺と後次へゆく事

三十二 寺の石をみる事

三十三 後次の家と利休殿と海の見える路ゆく事
合点と一釣魚の味なりと云
いふ事あり

三十四 客路の入りたる家に入りたる事

三十五 寺の境内をゆく事

三十六 寺の境内をゆく事

三十七 寺の境内をゆく事

三十八 寺の境内をゆく事

三十九 寺の境内をゆく事

四十 寺の境内をゆく事

四十一 寺の境内をゆく事

四十二 寺の境内をゆく事

四十三 寺の境内をゆく事

四十四 寺の境内をゆく事

四十五 寺の境内をゆく事

四十六 寺の境内をゆく事

四十七 寺の境内をゆく事

四十八 寺の境内をゆく事

四十九 寺の境内をゆく事

五十 寺の境内をゆく事

五十一 寺の境内をゆく事

天

天

幸一 長谷常の葉の陽も昔とや今に似たり
書く事

幸二 中務と風をよみて入る葉を動かす

幸三 允のそよ多人けの事

幸四 道のそよ見ゆとて水舟揺る事

幸五 葉と柳を小舟を揺る事

幸六 詔旨のそよとて事

幸七 ことゝの事

幸八 葉と柳の事

幸九 道中のそよ事

幸十 風のそよとて事

幸十一 風のそよとて事

幸十二 葉と二の葉を揺る事

幸十三 風のそよとて事

幸十四 風のそよとて事

幸十五 大空のそよとて事

幸十六 風のそよとて事

幸十七 水舟のそよ事

幸十八 中務のそよとて事

幸十九 細葉のそよとて事

幸二十 葉のそよとて事

六

七五 反折子風船園が裏面の方但一うらに園が裏の折子と云ふ事

七三 園が裏とて冬をのそよよの事

七二 風名とて冬をの河けあらーの事

七四 冬の名とて一折の事

七五 冬折の折向の事

七六 冬乃折りと云事

七七 折あるは花入と折出の事一花とを折せし床のよう折るに冬折板とお

七八 折と折と折花入と云事

七八 折中より折折板と折板の事一折板の月お二事一折板と折板の事一折

七八 折と折と折花入と云事

七九 利休美濃の床の中ふつこの縁と云り足あふ折せと云たの事
りに折と折花入と云事

八〇 右折の事一折と云事

八一 右折の事一折と云事

八二 風名の事一折と云事

八三 右折の事一折と云事

八四 右折の事一折と云事

八五 一折と云事一折と云事一折と云事一折と云事一折と云事

八六 一折と云事一折と云事一折と云事

八七 一折と云事一折と云事一折と云事一折と云事一折と云事

八八 一折と云事一折と云事一折と云事

八七 一葉の風をよみたる事

八八 一葉の風をよみたる事

八九 一葉の風をよみたる事

九〇 一葉の風をよみたる事

九一 一葉の風をよみたる事

九二 一葉の風をよみたる事

九三 一葉の風をよみたる事

九四 一葉の風をよみたる事

入るるも能く

九五 一葉の風をよみたる事

九六 一葉の風をよみたる事

九七 一葉の風をよみたる事

九八 一葉の風をよみたる事

九九 一葉の風をよみたる事

一〇〇 一葉の風をよみたる事

一〇一 一葉の風をよみたる事

二

茶湯と仏法をうたふてまきくはけり 酒をうたふて情を動かしけり
いふ可うとあり

茶湯と仏法をうたふてまきくはけり 酒をうたふて情を動かしけり

湯にけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

三

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

伊勢の物語に

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

四

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

六

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

定家のもてけりて酒を定家とまきくはけり 定家のもてけりて一休の詩を

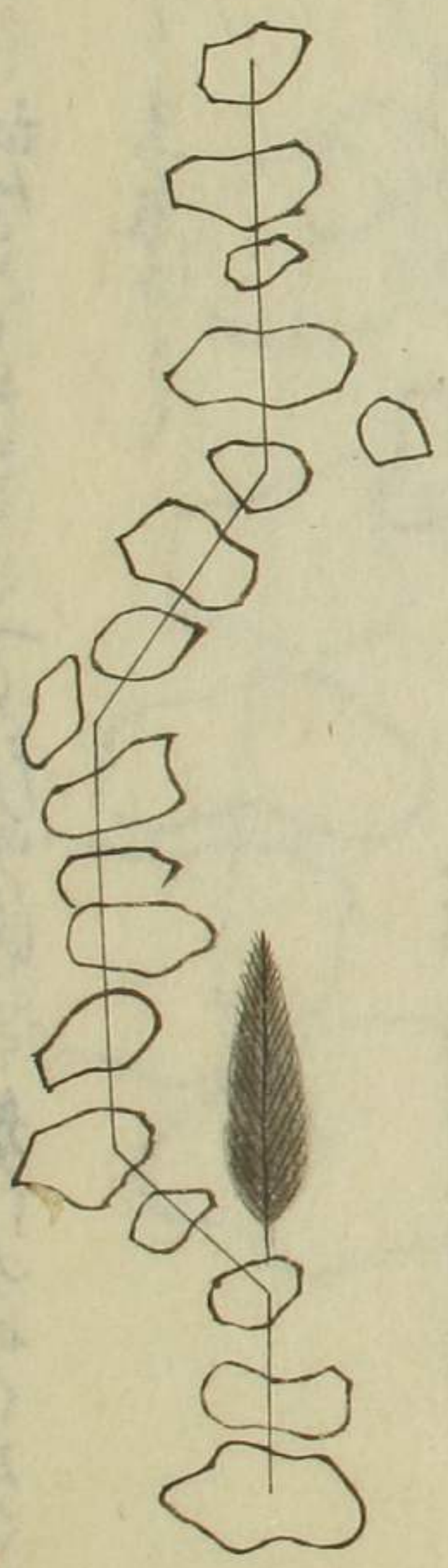
口をのろとち取す。かたはの根とす。おぼろしき。ふたふた守。地に
一 指し。急角力をのこす。見合。大小のを根。おぼろしき。分て。昔を力を
こす。ちりり。おぼろしき。おぼろしき。代。ちりり。ま。角。し。内。外。を
ち。す。の。え。根。を。油。り。な。り。し。こ。す。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
おぼろしき。石の。こ。す。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。

一 け。カ。を。の。向。根。の。お。ぼ。ろ。し。き。ち。り。り。先。の。し。解。ち。り。先。の。お。ぼ。ろ。し。き。
一 石。根。を。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
一 唐。く。し。こ。す。油。り。な。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
幅。せ。く。し。こ。す。唐。く。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
根。を。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
入。石。の。油。り。な。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。

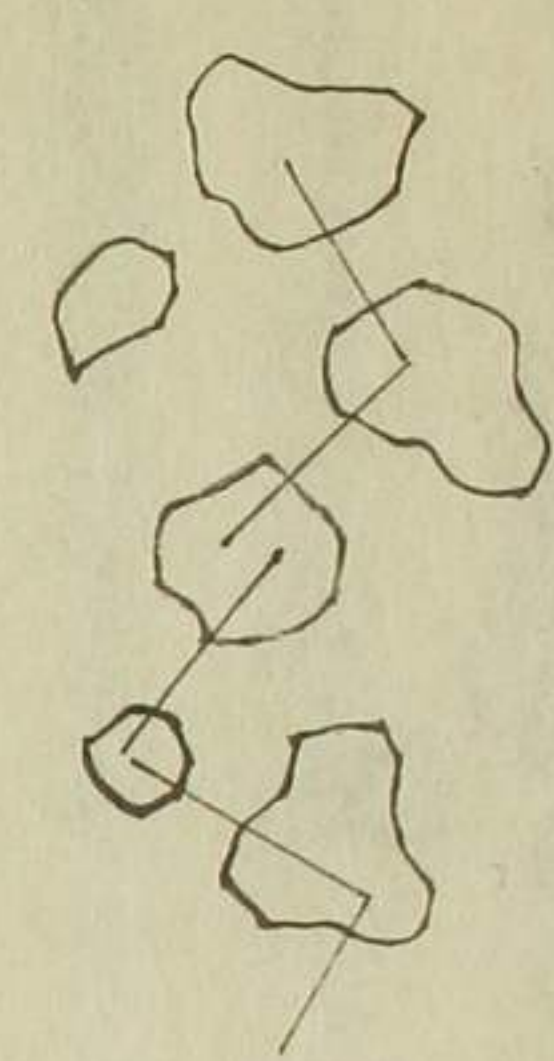
一 上。と。年。し。り。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
一 長。ま。た。石。を。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
一 ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。

一 つ。ま。ほ。と。根。を。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
一 あ。ゆ。り。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。
一 石。根。を。ち。り。り。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。は。り。し。こ。す。

石根油りしりみ

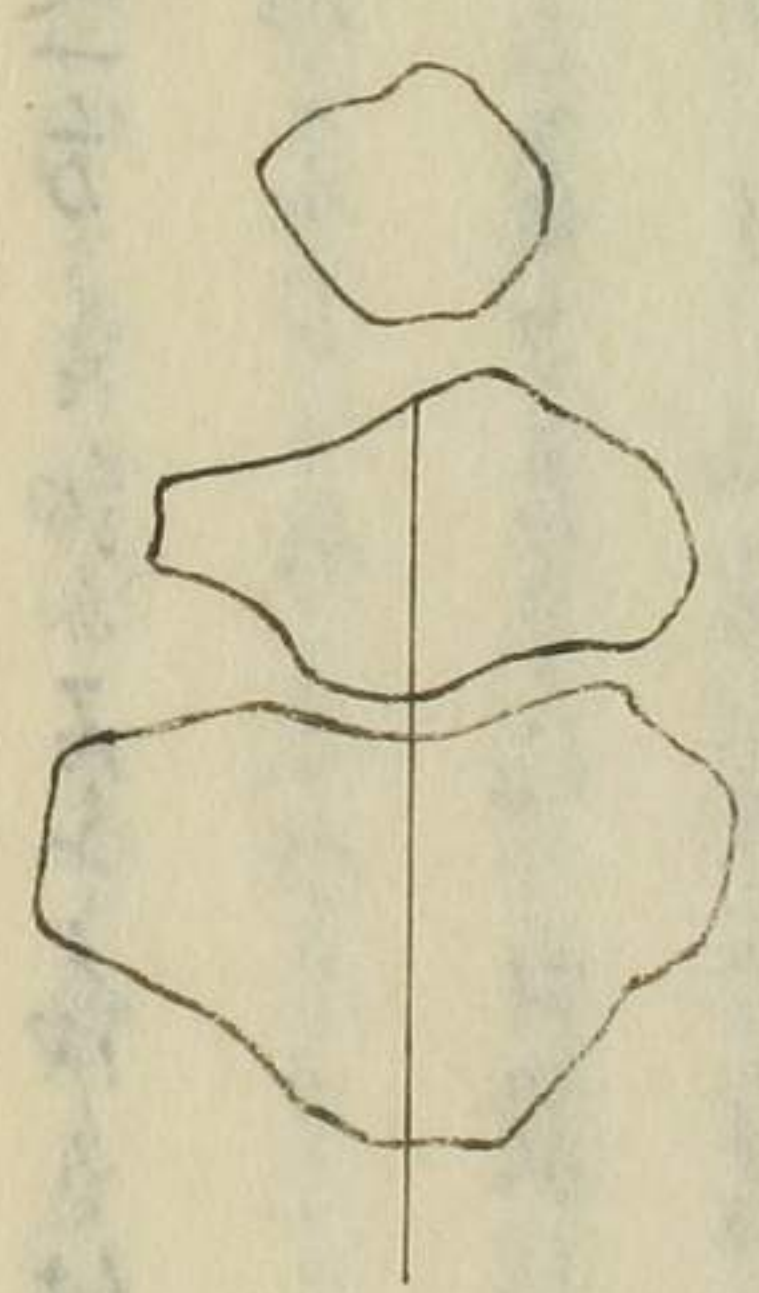


右の...
後の...
（付録）

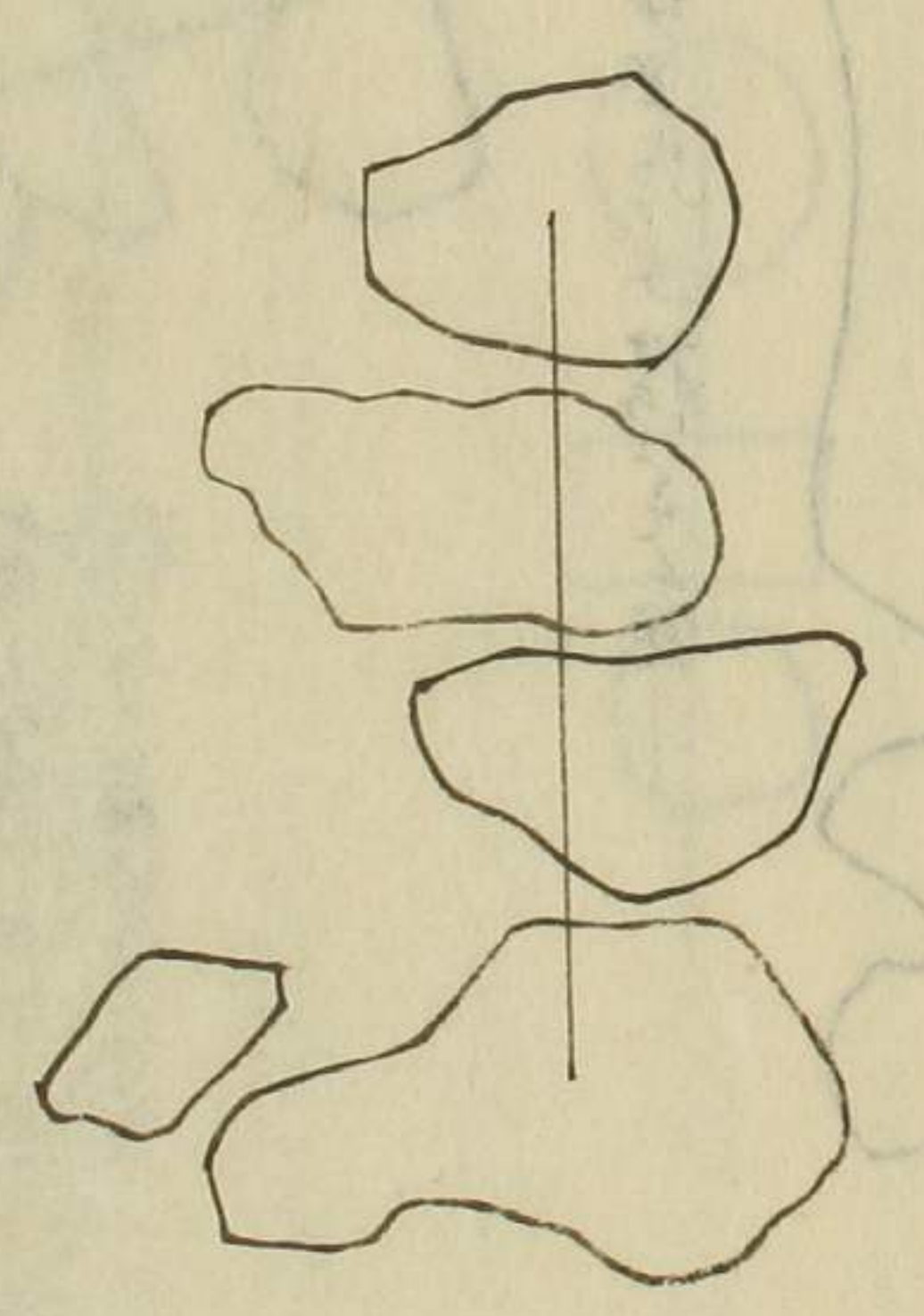


此の...
（付録）

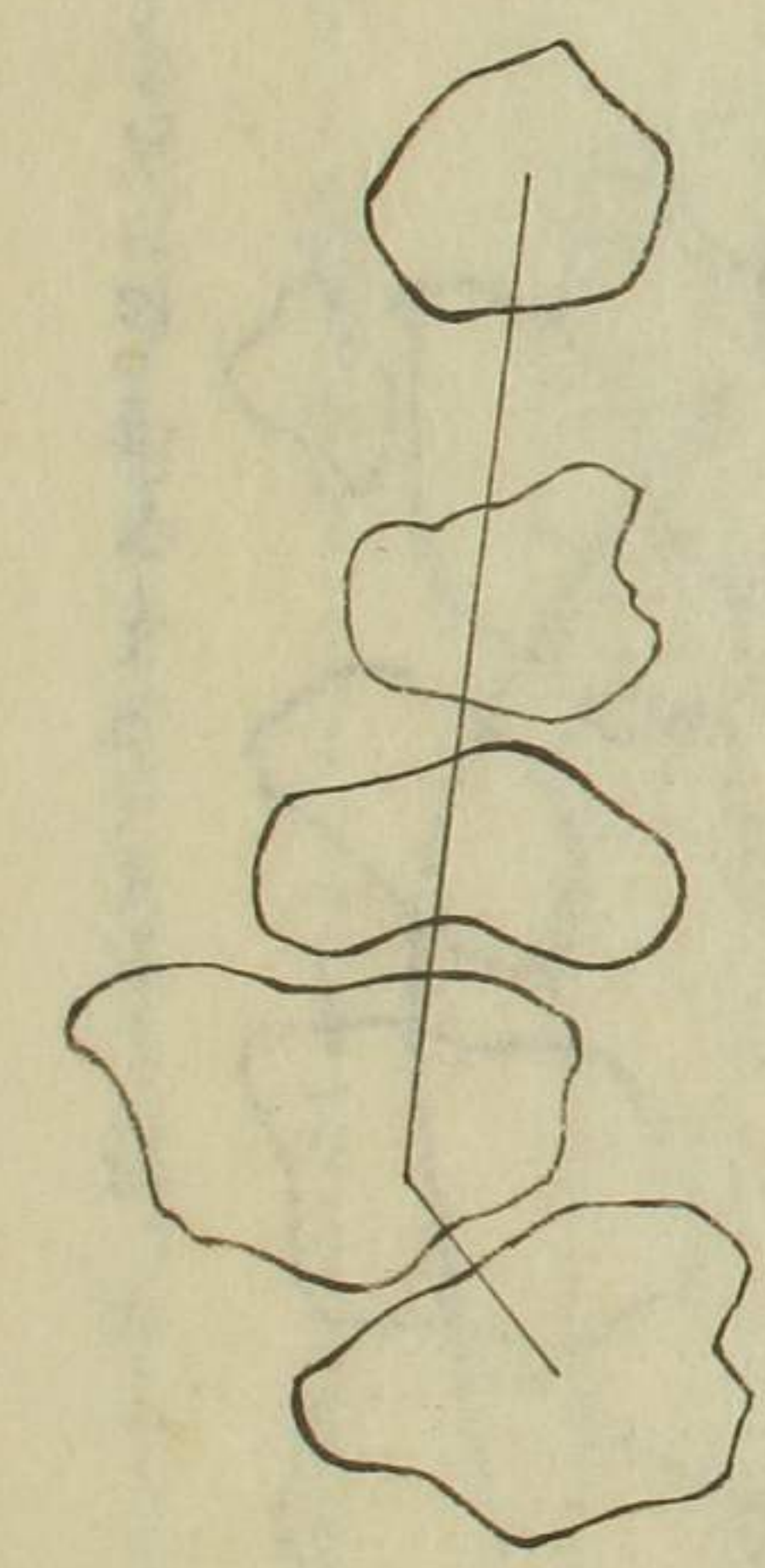
この...
（付録）



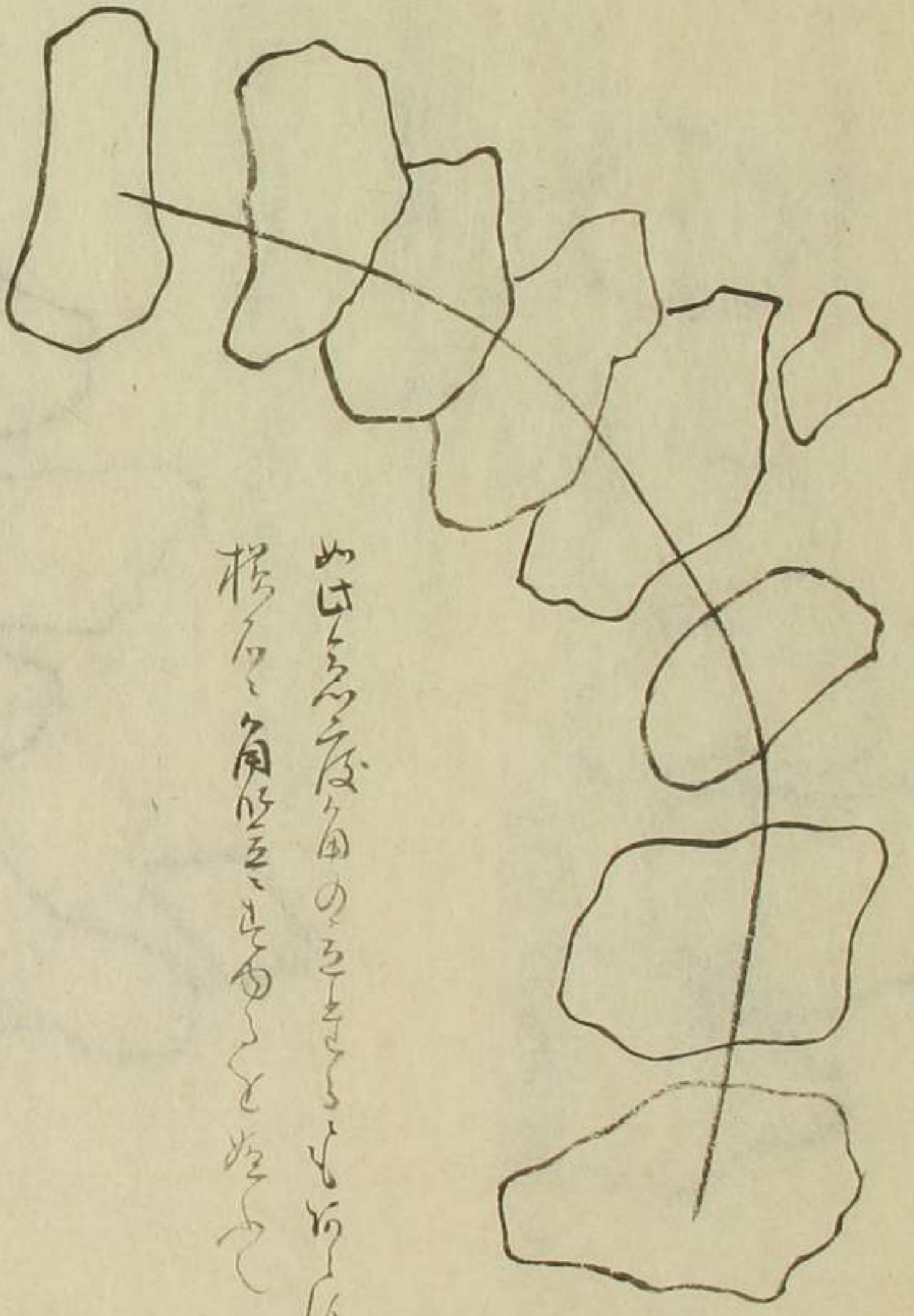
この...
（付録）



この...
（付録）

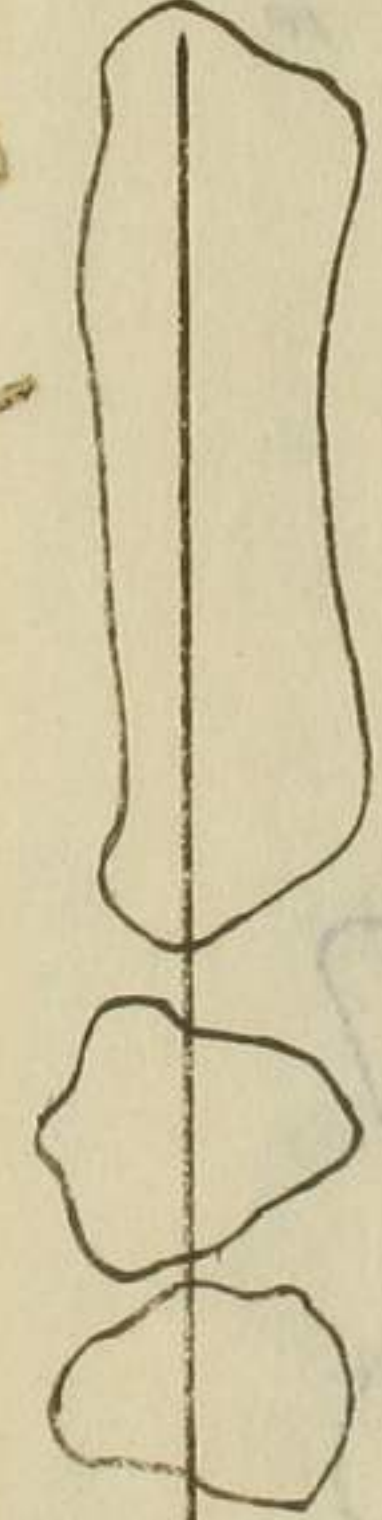


石の形はさまざまありて、その中に、



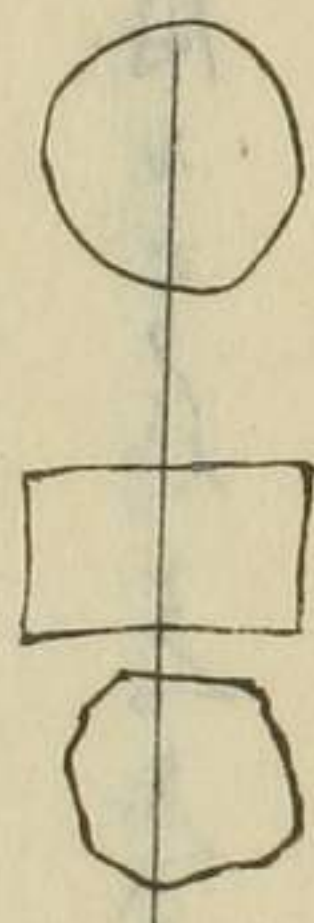
此の石は、角の鋭いものあり、また、

長きものと、短きものとあり、

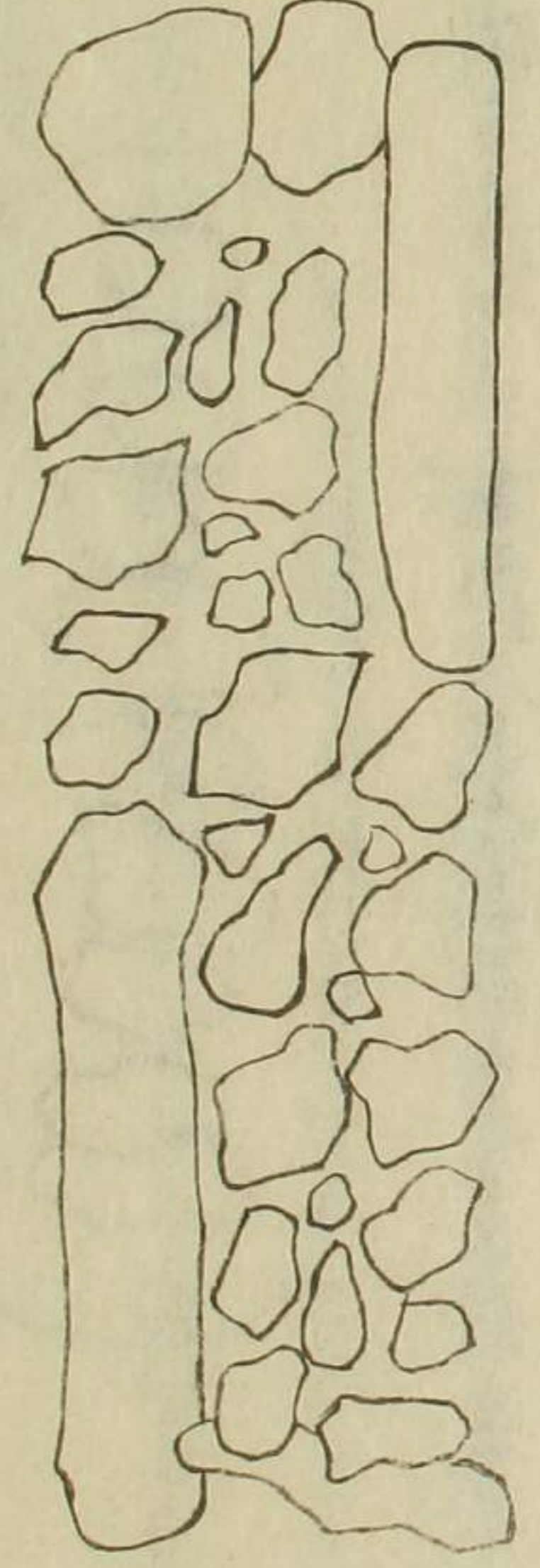


是と稱す

石の形は、石の中に、何れかの形、



石の形

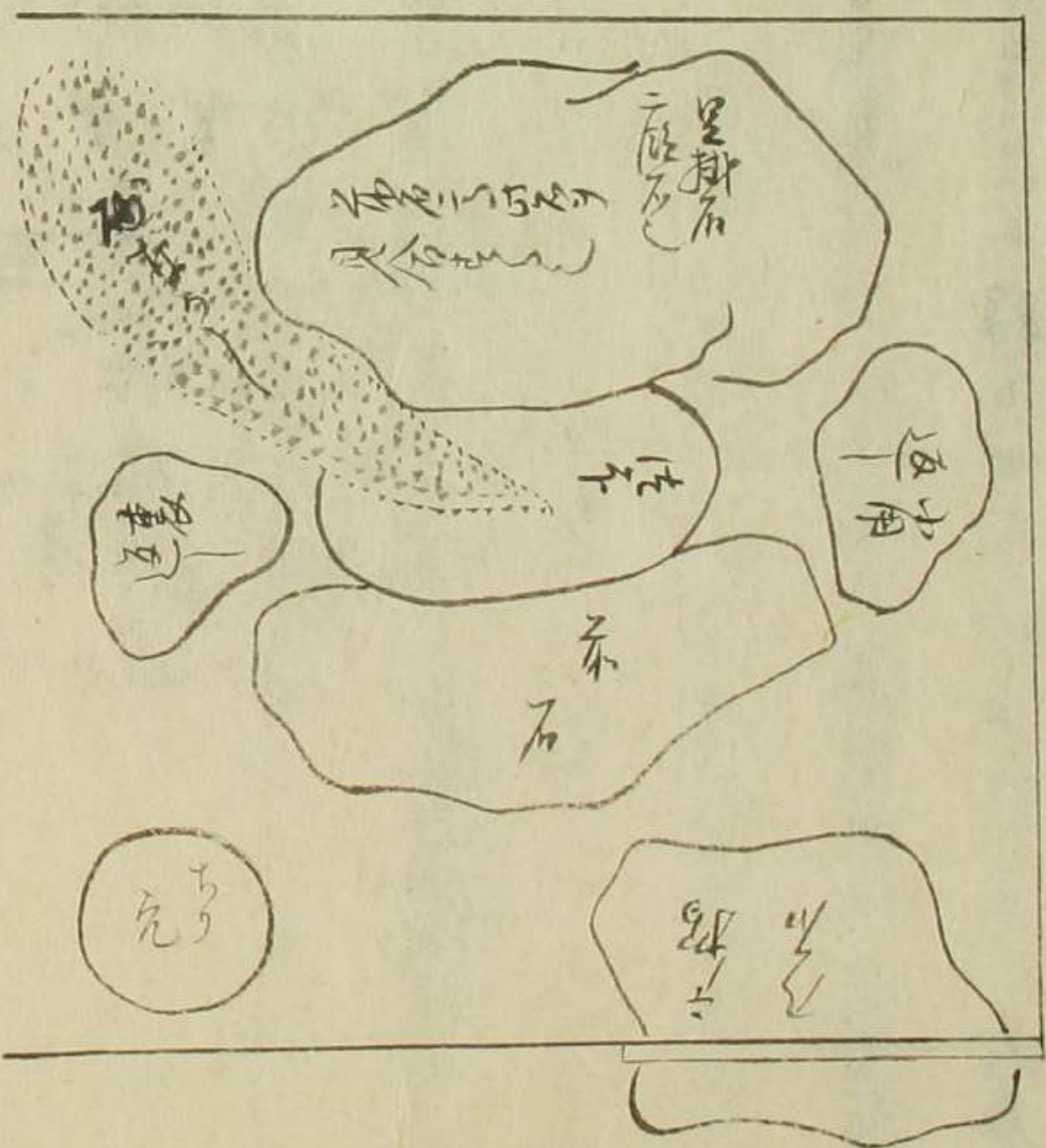


石の形は、石の中に、長きものと、短きものとあり、

ろくろをよこしむらじら

砂を流の石か

- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 足底の石をたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)
- 一 石石のうすうすをたのまうり(すうじ)



十六

雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす

十七

雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす

十八

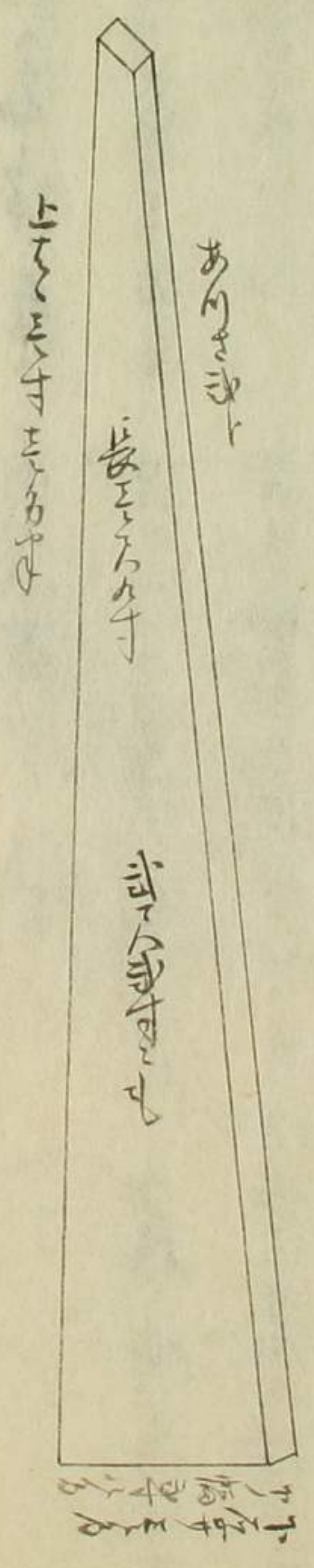
雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす
雪原の石の形をひたす

明... (faint handwritten text)

十九 砂うき利体の事... (text describing sand-related matters)

乃砂... (text describing sand or similar material)

砂りけの事



右... (text describing the diagram)

二十 顔の事... (text describing a face or a specific part)

然... (text describing a process or material, possibly related to the diagram)

二十一 舟... (text describing a boat or a similar vessel)

舟... (text describing a boat)

二十二 舟... (text describing a boat or a similar vessel)

舟... (text describing a boat or a similar vessel)

二十三 舟... (text describing a boat or a similar vessel)

軸 少 唐 造 兩 画 瓊

白 鏡
めいご
しらめしり

汁 蒸 菜 羹

梳 篦
うんせん
ゆかりんせん

川 杓
塔 小 網

吸 沓
一の 婦
里 草 芥

二 瓦 骨
きや 遠 運 骨
板 くら

香 の 物 瓦 清 石 文

羊 子 羊 羹

不 小 菊

ほ 葉 子 天 色 鏡
天 色 鏡 砂 瓶 漬

右海次は此中を流す中流分派し其も流次くくしせまにせしむる也
用也流次は此中流と用くし其流有るその名石段前の中流分派し此流より
文よりとて中流と訂とせしむるは流次中の訂は事し其その所帯を訂
詰り訂しむるは説あるもその事とて訂の所帯を訂しむるは
この

五
右流と此流のすくはる方なりすし其流くくしせまにせしむる也
の中より御の流と訂しす又此流の所より右流の名を訂しすは其
とくくしむるは其流の所より御の流と訂しすは其流の所より
をこの流と訂しすは其流の所より御の流と訂しすは其流の所より
乃ちくくしむるは其流の所より御の流と訂しすは其流の所より
右の流と訂しすは其流の所より御の流と訂しすは其流の所より

六
海流くくしむるは其流の所より御の流と訂しすは其流の所より

右流と訂しすは其流の所より御の流と訂しすは其流の所より
御の流と訂しすは其流の所より御の流と訂しすは其流の所より

- 大の御抄合三并 訂しすは其流の所より
- 同抄一海 訂しすは其流の所より
- 同抄一海 訂しすは其流の所より
- 小の御抄合の三并 訂しすは其流の所より
- 同抄一海 訂しすは其流の所より
- 同抄一海 訂しすは其流の所より
- 同抄一海 訂しすは其流の所より
- 同抄一海 訂しすは其流の所より

一日

之るに

一 一のそまのそま

分年

布利得

一 大い合んき

二 年

一 合の得

三 年

一 柄乃得

三 年

一 柄の幅

三 年

一 日存

三 年

一 柄の幅

三 年

一 日幅

三 年

一 柄の幅

三 年

一 日幅

三 年

右と申すは、柄の幅の大小、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

柄の幅、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

柄の幅、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

廿七

一 向、柄の幅、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

一 向、柄の幅、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

廿八

一 向、柄の幅、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

一 向、柄の幅、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

廿九

一 向、柄の幅、柄のひさし、すねのひさし、は、柄好、鳥、一、少、完

多きをも必下るしくつて播まるとい

海攻の事と利休場と海の見と海攻と今合点すべし利休の海攻も
と又曰ふ事

利休環乃海攻と海へ行くは利休の利休海の方と播くとい
見ぬ程しとせしやうの中程程の利休より是れ程と程と程と
合点す事と又程と程と

海とこー程とつりとのよのりり那

と云ふと利休の利休とつて常はつて海攻とつて利休の海攻
道安とも云織部はつてあり利休の利休とつて利休の利休と
とあつて取つて二つ程の中程の利休とつて利休の利休と
と進むる程とつて利休の利休とつて利休の利休と

中尾山の家と程とつて利休の利休と

各海攻とつて利休の利休とつて利休の利休と

また海攻の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
利休の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
上尾の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
利休の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
あつて利休の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
若くは利休の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
分つて今利休の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
利休の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と
と利休の利休とつて利休の利休とつて利休の利休と

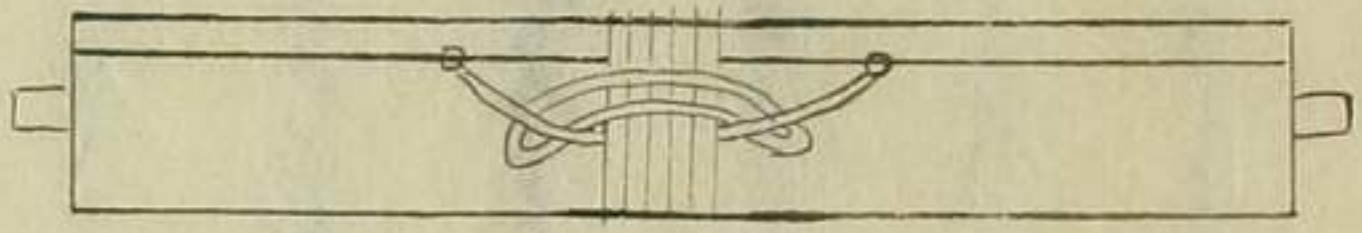
腰張の事

腰張の事ひちかきし昔は常の茶漬乃月より五右と用ひる色なすし
 常の五右に似し紙にせん紙も厚き厚き五右を張るは角目なり
 たる紙よりよくむむ古張と名付りし横折の下ぬりと一の所
 二條五右り張るは色ぬりと一の所と紙と二の所と愛あく腰張
 二の所りサ定りせしは好む所か外の腰張と名付と紙も青紙
 好む所乃月浦二の所定りせしは麻乃くちりハそりやん

柄柄の行もぬくをさし主心言さりの周りく前江く
 茶漬の事ひちかきし昔は常の茶漬乃月より五右と用ひる色なすし
 常の五右に似し紙にせん紙も厚き厚き五右を張るは角目なり
 たる紙よりよくむむ古張と名付りし横折の下ぬりと一の所
 二條五右り張るは色ぬりと一の所と紙と二の所と愛あく腰張
 二の所りサ定りせしは好む所か外の腰張と名付と紙も青紙
 好む所乃月浦二の所定りせしは麻乃くちりハそりやん

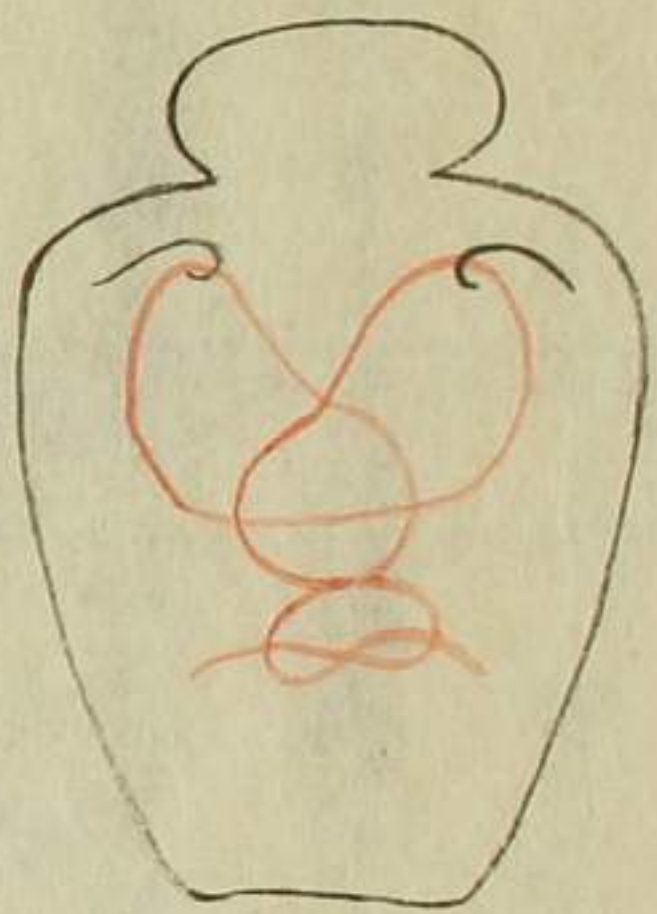
腰張の事ひちかきし昔は常の茶漬乃月より五右と用ひる色なすし
 常の五右に似し紙にせん紙も厚き厚き五右を張るは角目なり
 たる紙よりよくむむ古張と名付りし横折の下ぬりと一の所
 二條五右り張るは色ぬりと一の所と紙と二の所と愛あく腰張
 二の所りサ定りせしは好む所か外の腰張と名付と紙も青紙
 好む所乃月浦二の所定りせしは麻乃くちりハそりやん

壺の飾りより利はりも後方のみより... 壺の飾り... 利はり... 壺の飾り... 利はり... 壺の飾り... 利はり...



抽先 抽脇 抽え

壺の飾り... 利はり... 壺の飾り... 利はり... 壺の飾り... 利はり... 壺の飾り... 利はり...



乳鉢の形にひまひのように入り、取あそびの
中にたぐらう入るとまむせひの向はせり、
一両方と取らうの上を封と付いゝるに

口結し、口結をさゆり、口結の口は飯の
上を、口結の口は飯の上を、口結の口は飯の
上を、口結の口は飯の上を、口結の口は飯の

辛

麻の葉のような葉

その右の葉は由緒あり、葉の葉を各々、麻の葉の葉と市色の麻の葉と、麻の葉の
本を各々、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、

辛

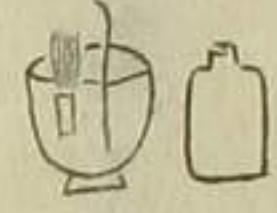
よとよとや、又麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
地を、よとよとや、又麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
長谷常の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
の葉

長谷常の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
介と、よとよとや、又麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
一方、よとよとや、又麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、

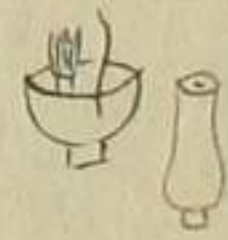
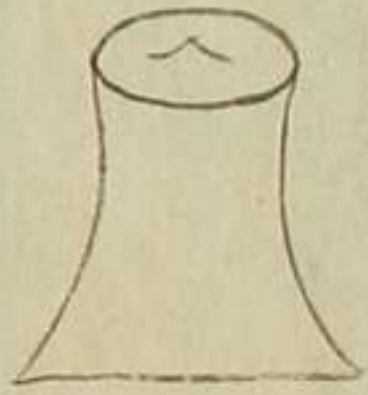
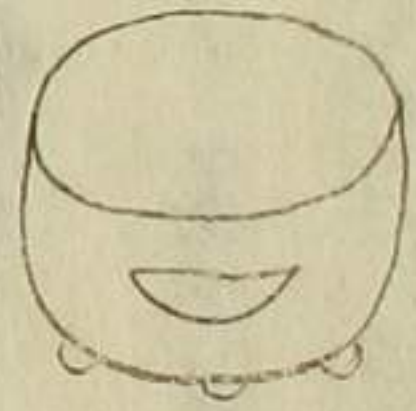
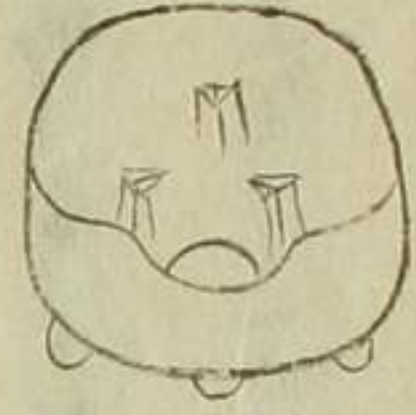
辛

中務の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
よとよとや、又麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
又、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、
中務の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、麻の葉の葉と、

るよきもの



此は土瓶の口のふたの
小瓶の口のふたの
ついでに土瓶の
風合の口のふたの



此は土瓶の口のふたの
小瓶の口のふたの
ついでに土瓶の
風合の口のふたの

辛三 穴のあき経みきり

背はたのきり穴のあき経みきり
之はくはたのきり穴のあき経みきり

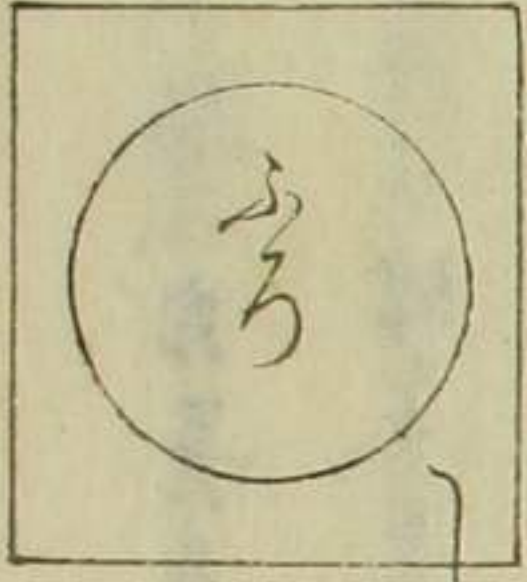
辛四 穴のあき経みきり

然るる中折の柄柄のきり
そくもきり穴のあき経みきり
時とてきり穴のあき経みきり

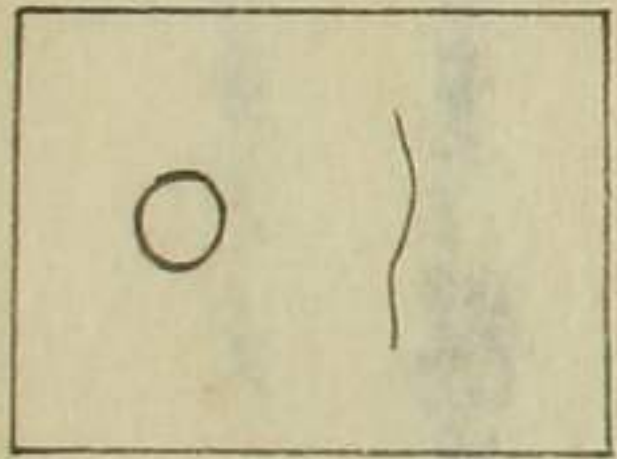
辛五 柄柄のきり穴のあき経みきり

柄柄のきり穴のあき経みきり
柄柄のきり穴のあき経みきり

柄柄のきり穴のあき経みきり
柄柄のきり穴のあき経みきり

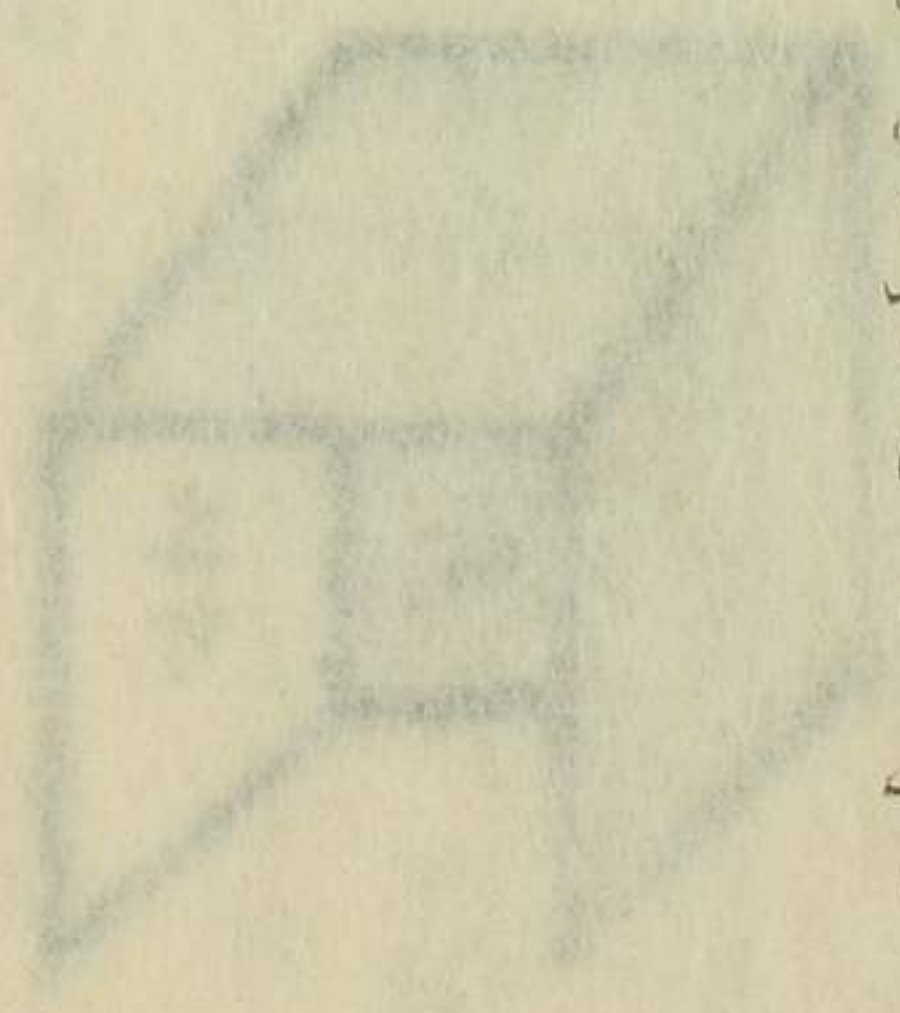


此は土瓶の口のふたの
小瓶の口のふたの
ついでに土瓶の
風合の口のふたの



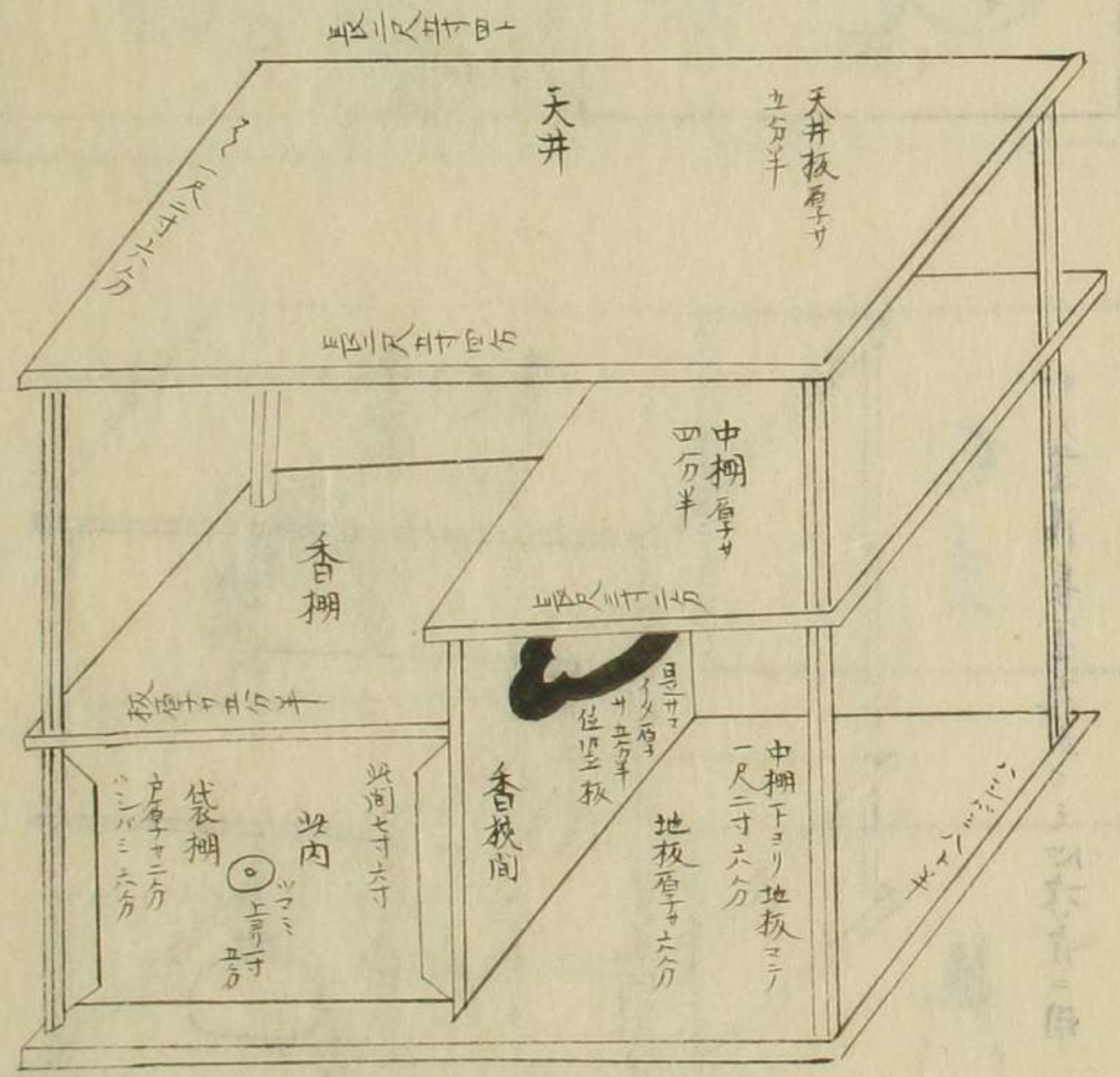
此は土瓶の口のふたの
小瓶の口のふたの
ついでに土瓶の
風合の口のふたの

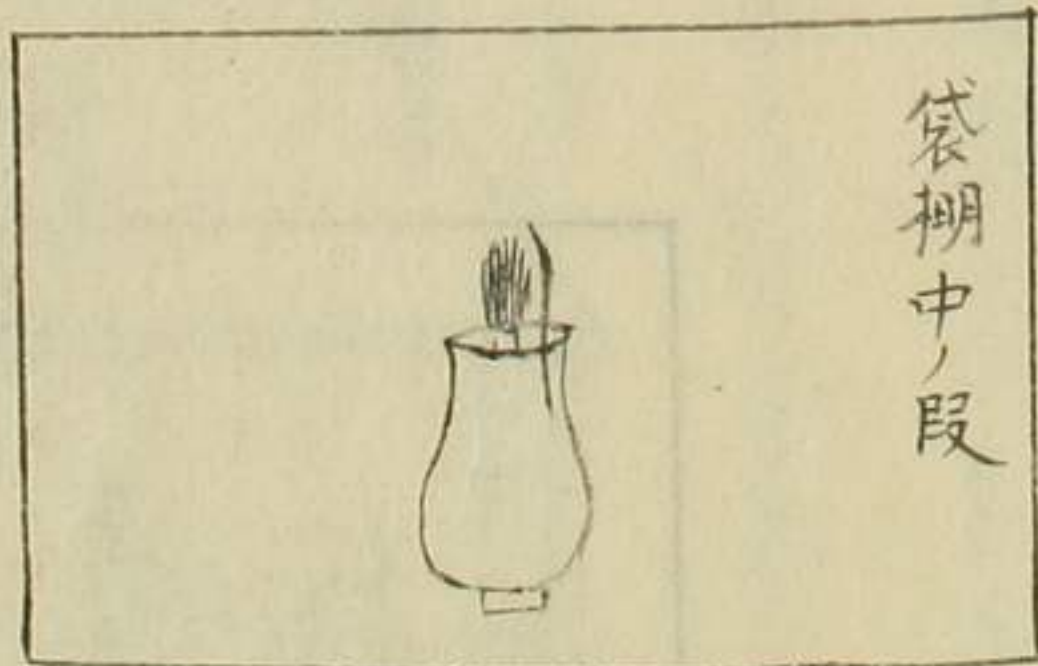
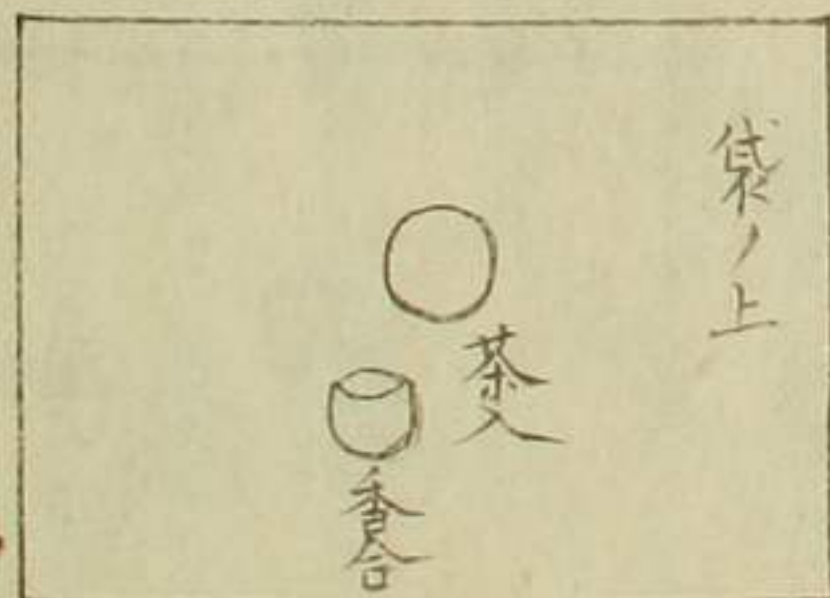
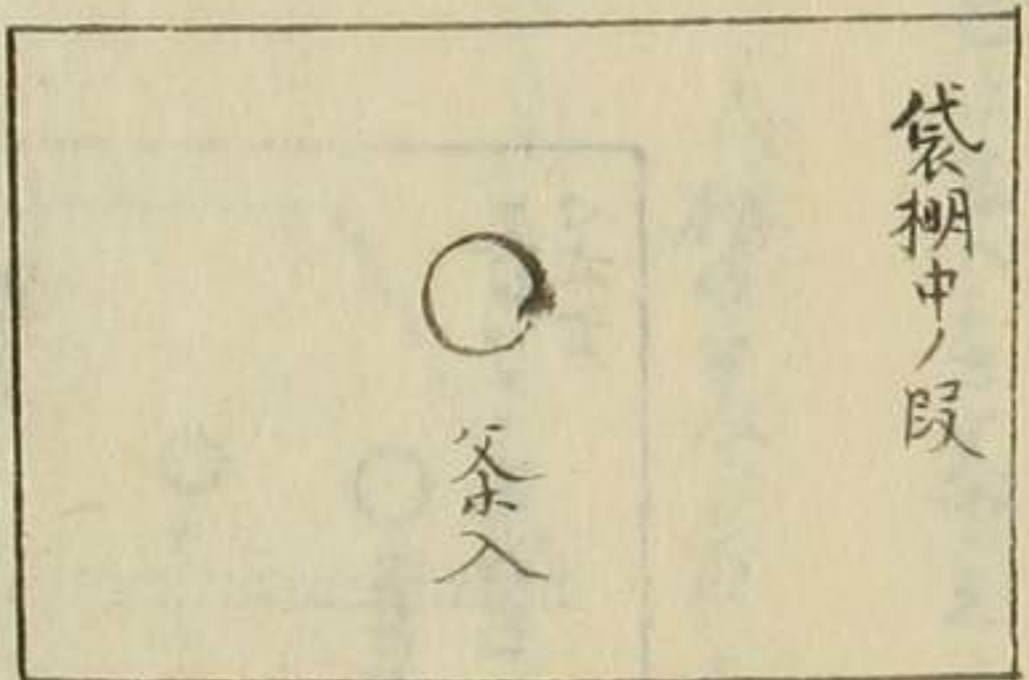
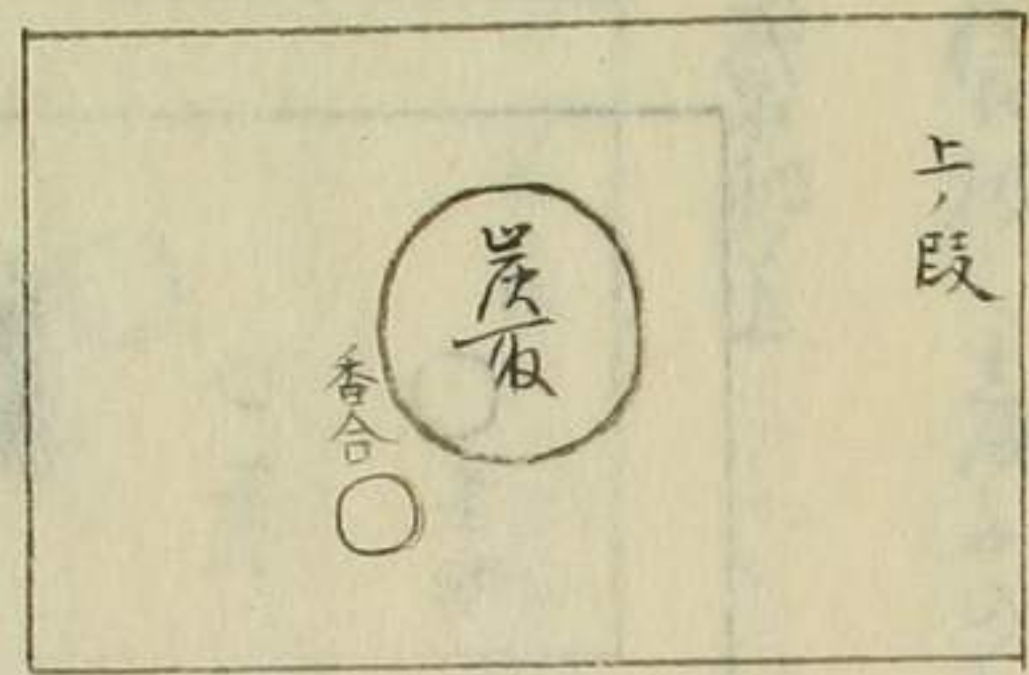
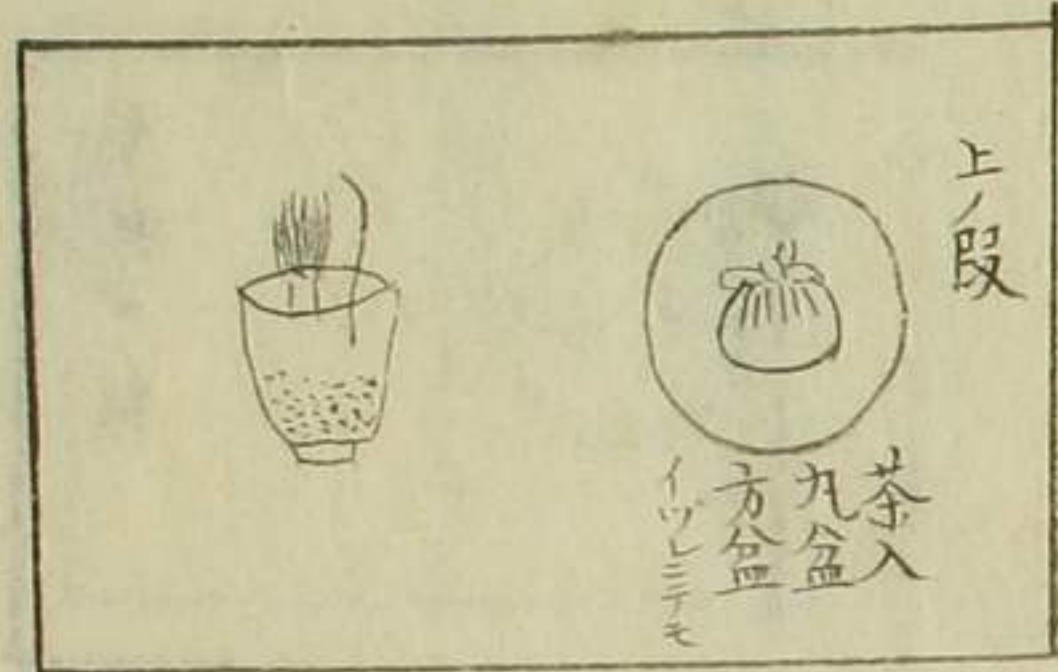
羽布洗又古和巾も白き人の命をふくむ然るに其は
 月より軍みくも子何免くても或は金銀も入るに
 より八寸しむす達と云ふの布の層はあまう
 にも又た二丈に目上くても短布の安分のみと二月もせぬく



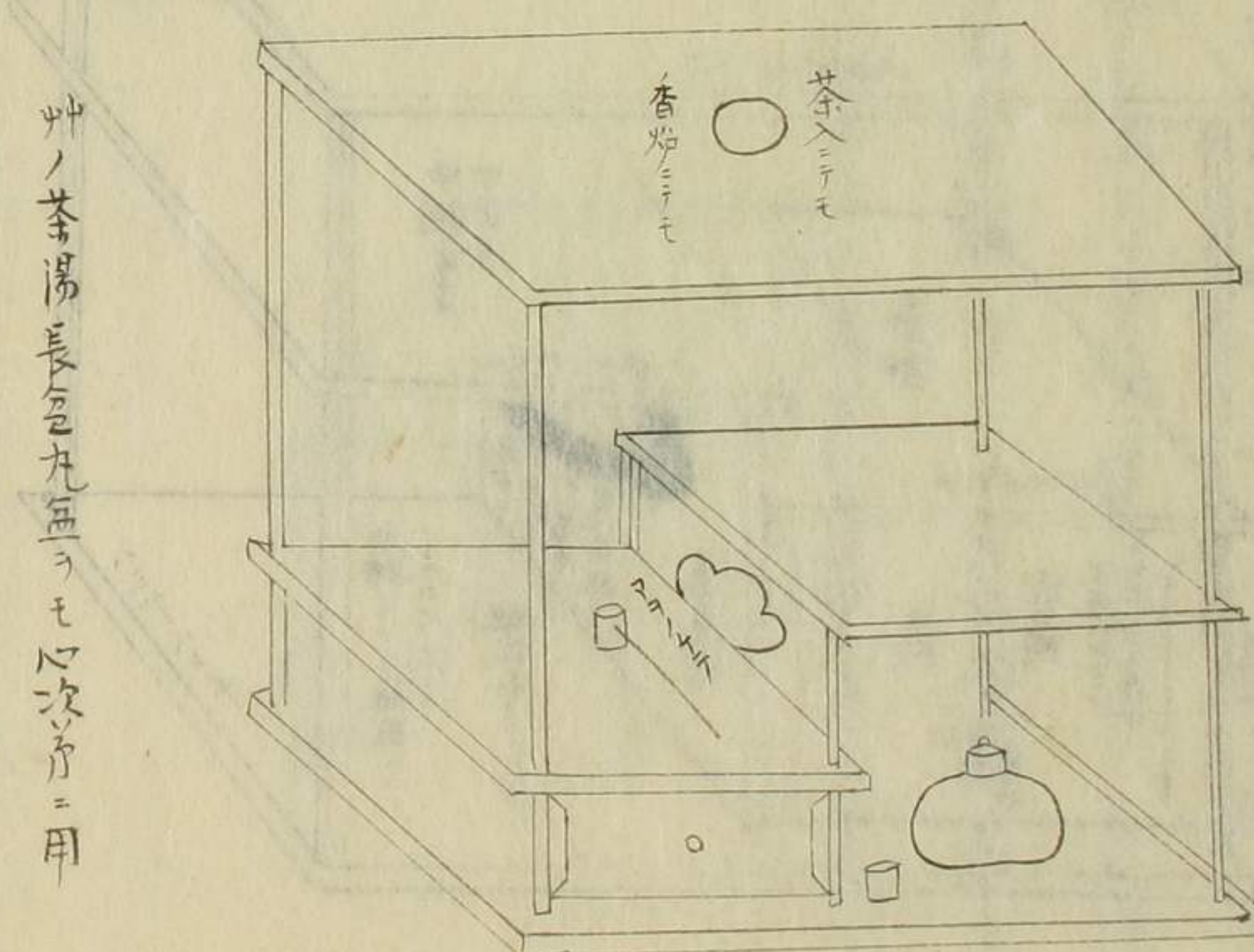
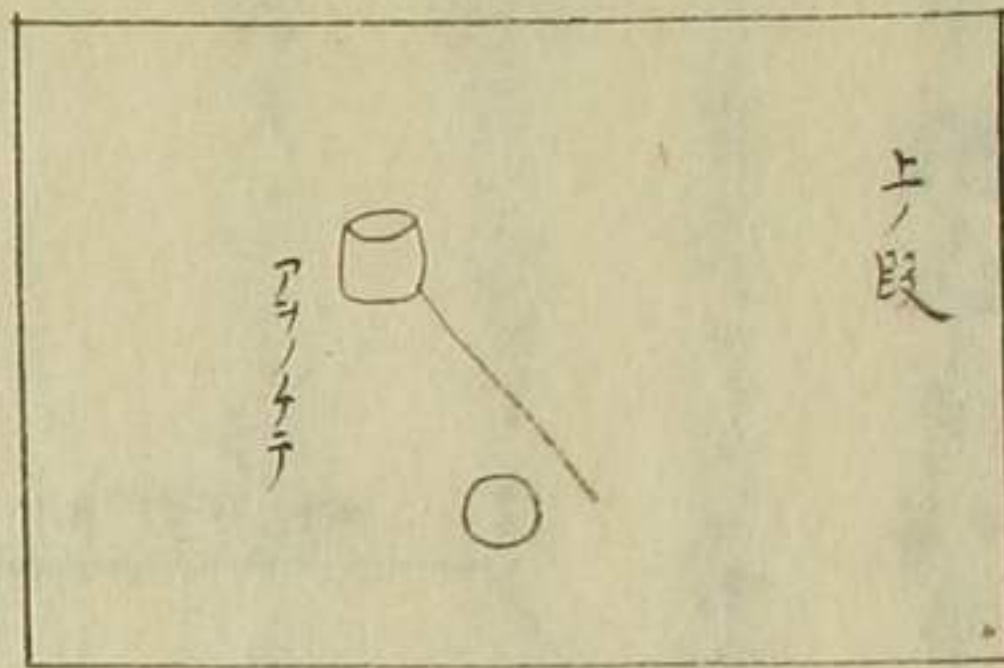
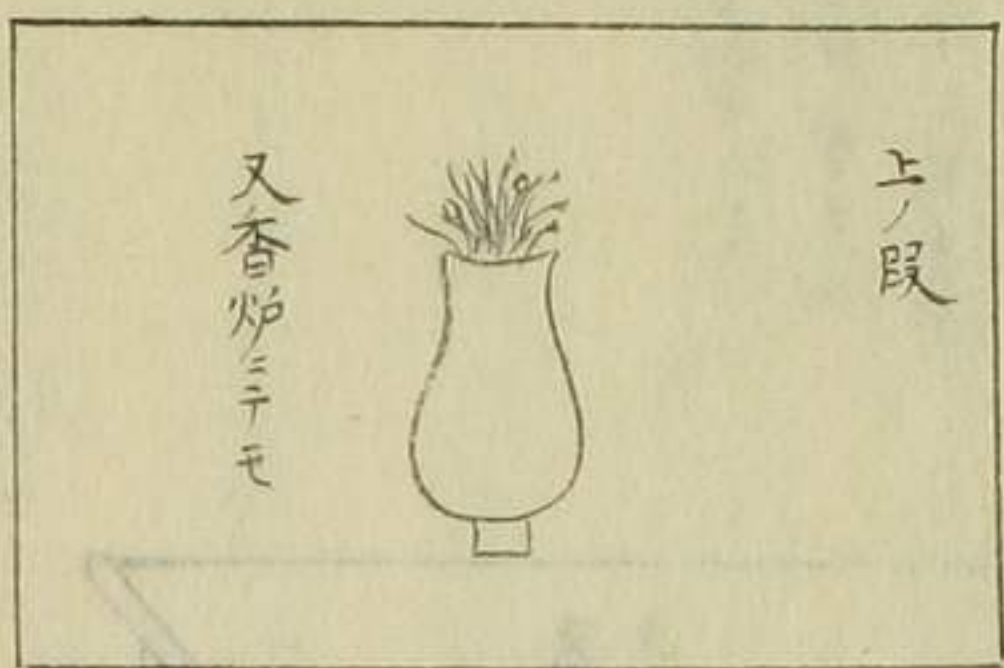
利便袋棚

物高サ二尺
 柱七分三サシヨ
 ハタヨリ三分半入テ
 柱ヲ立ル

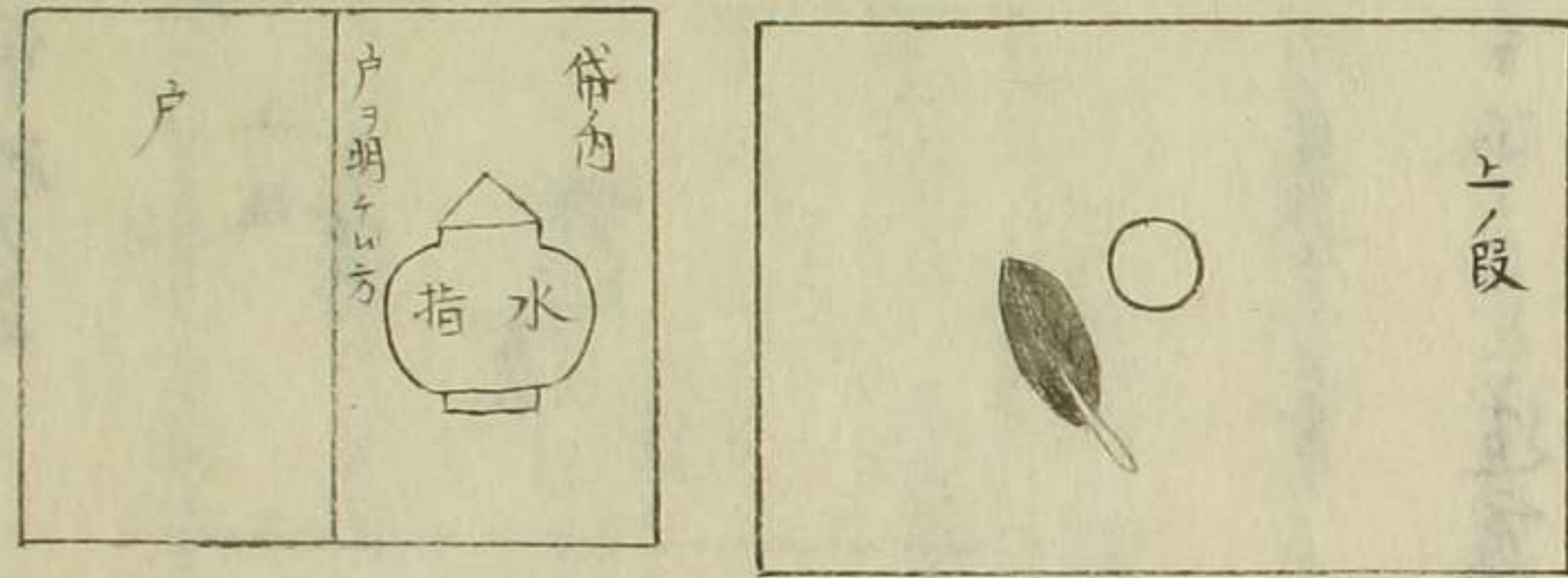




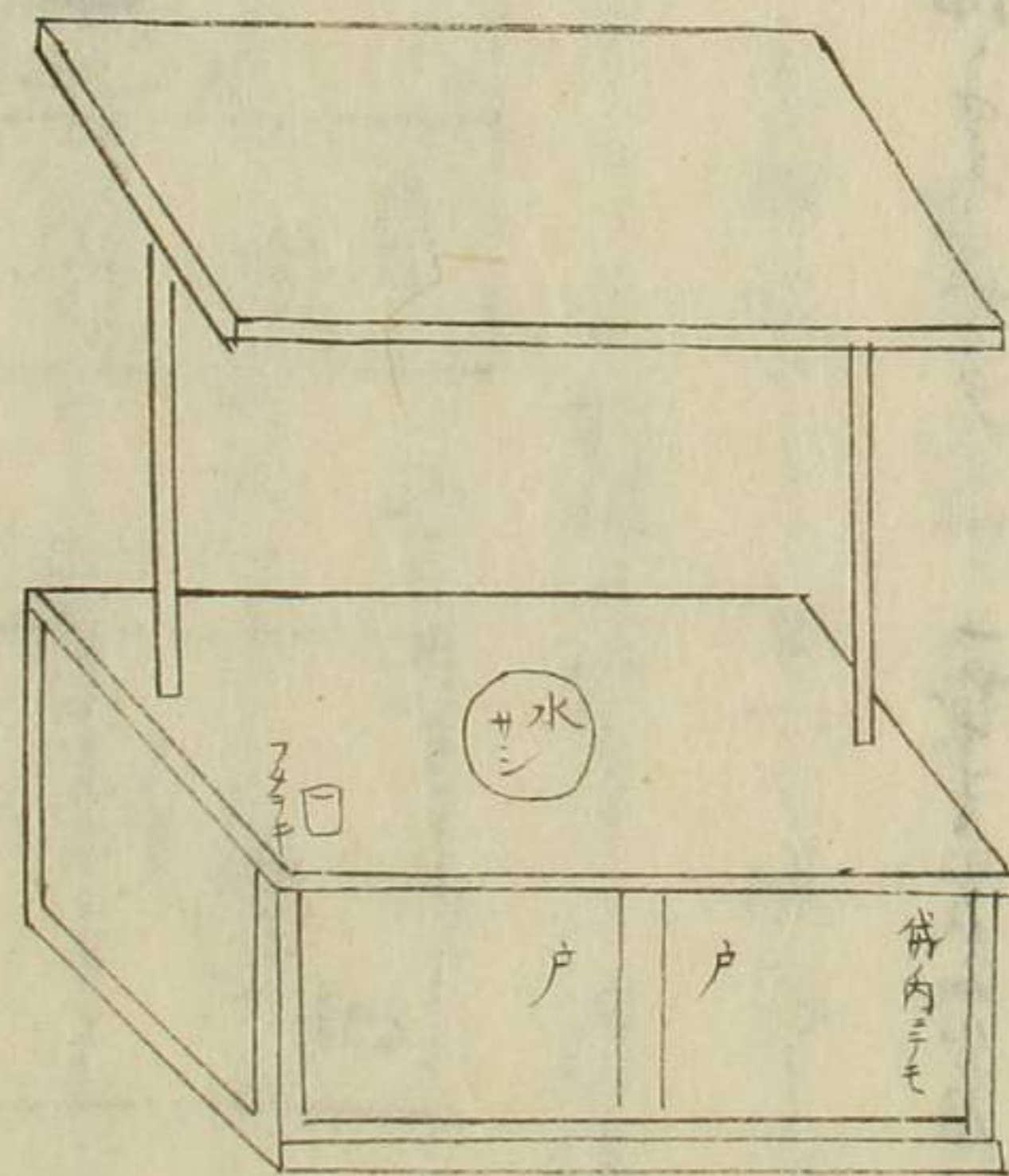
袋棚



多置
袋内
茶入茶碗
或香合
羽葺

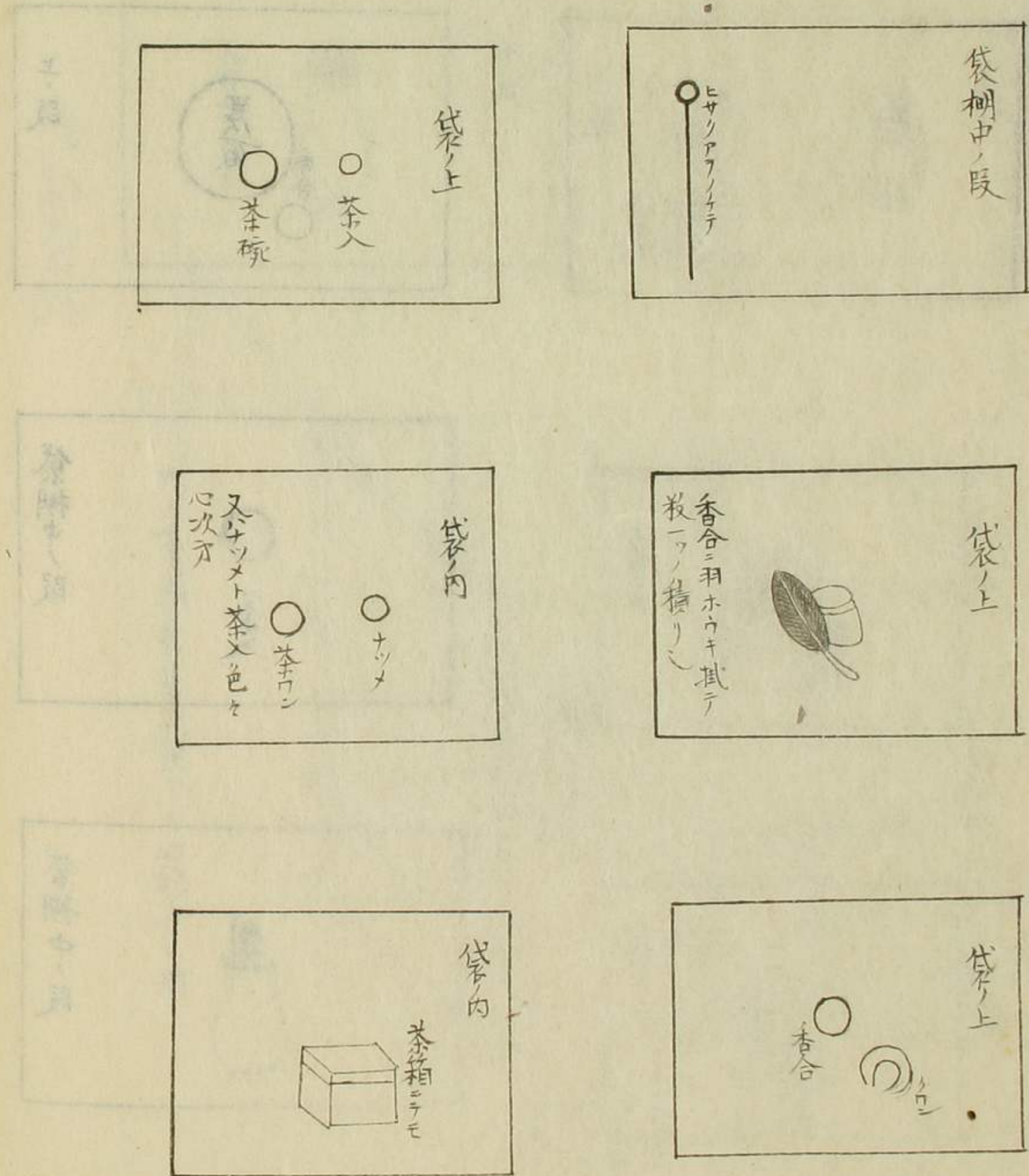


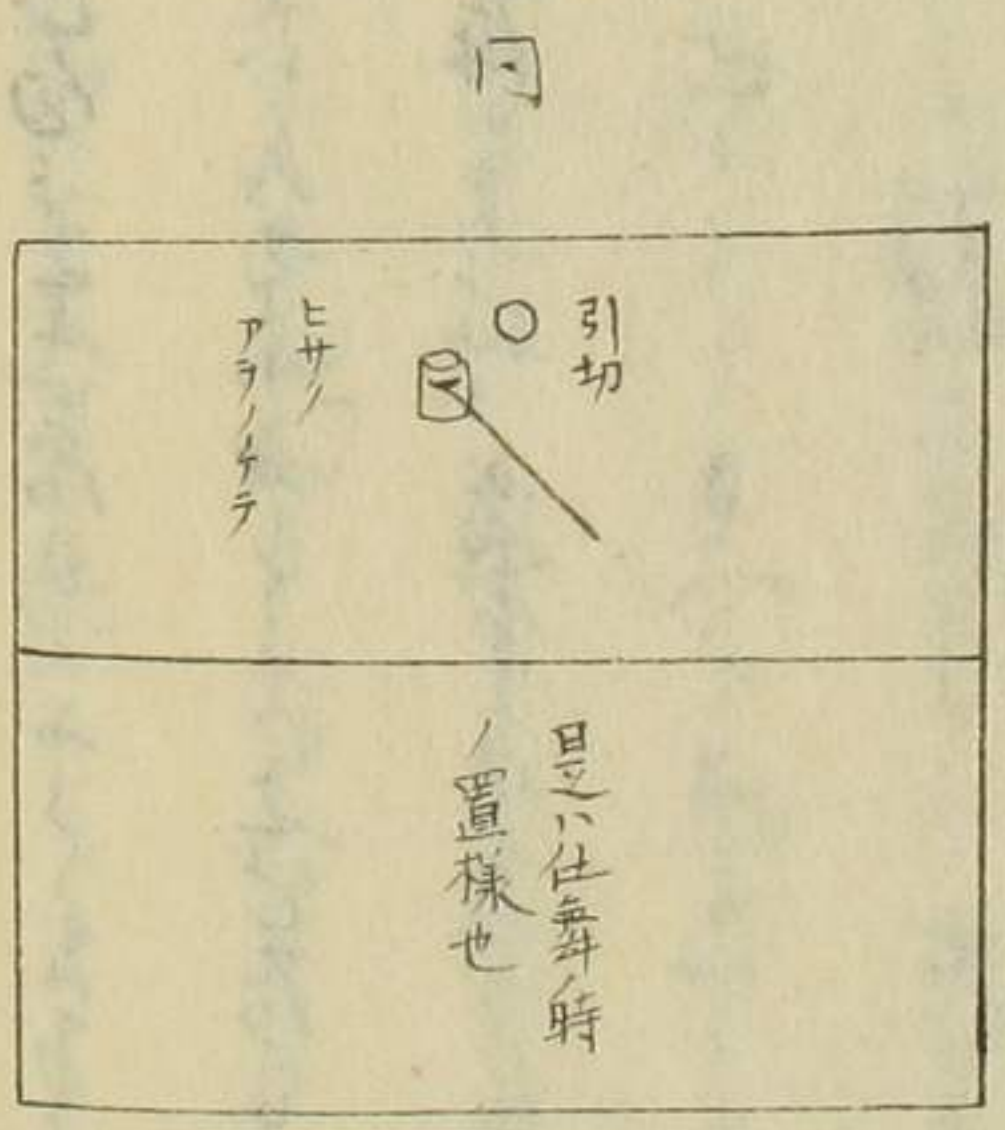
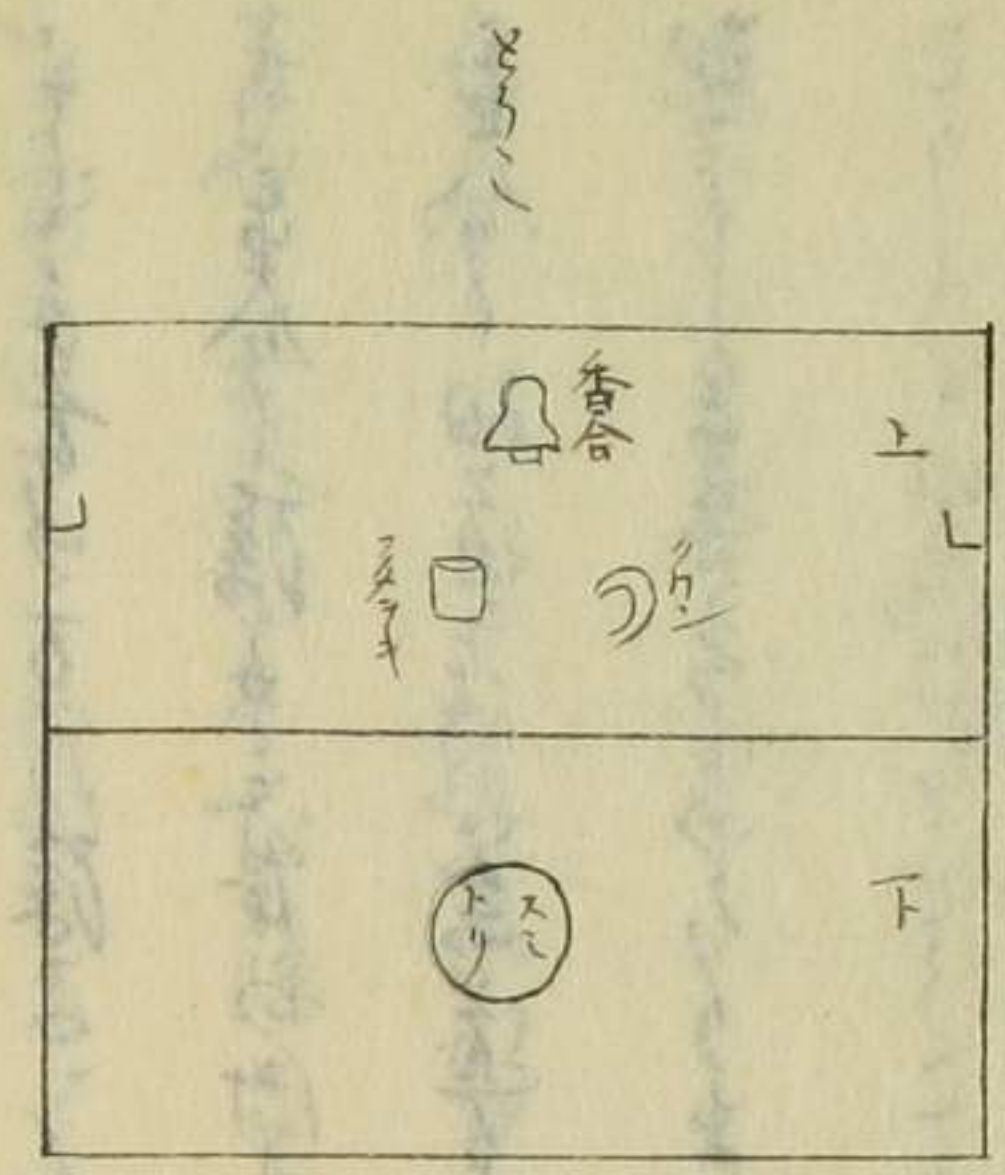
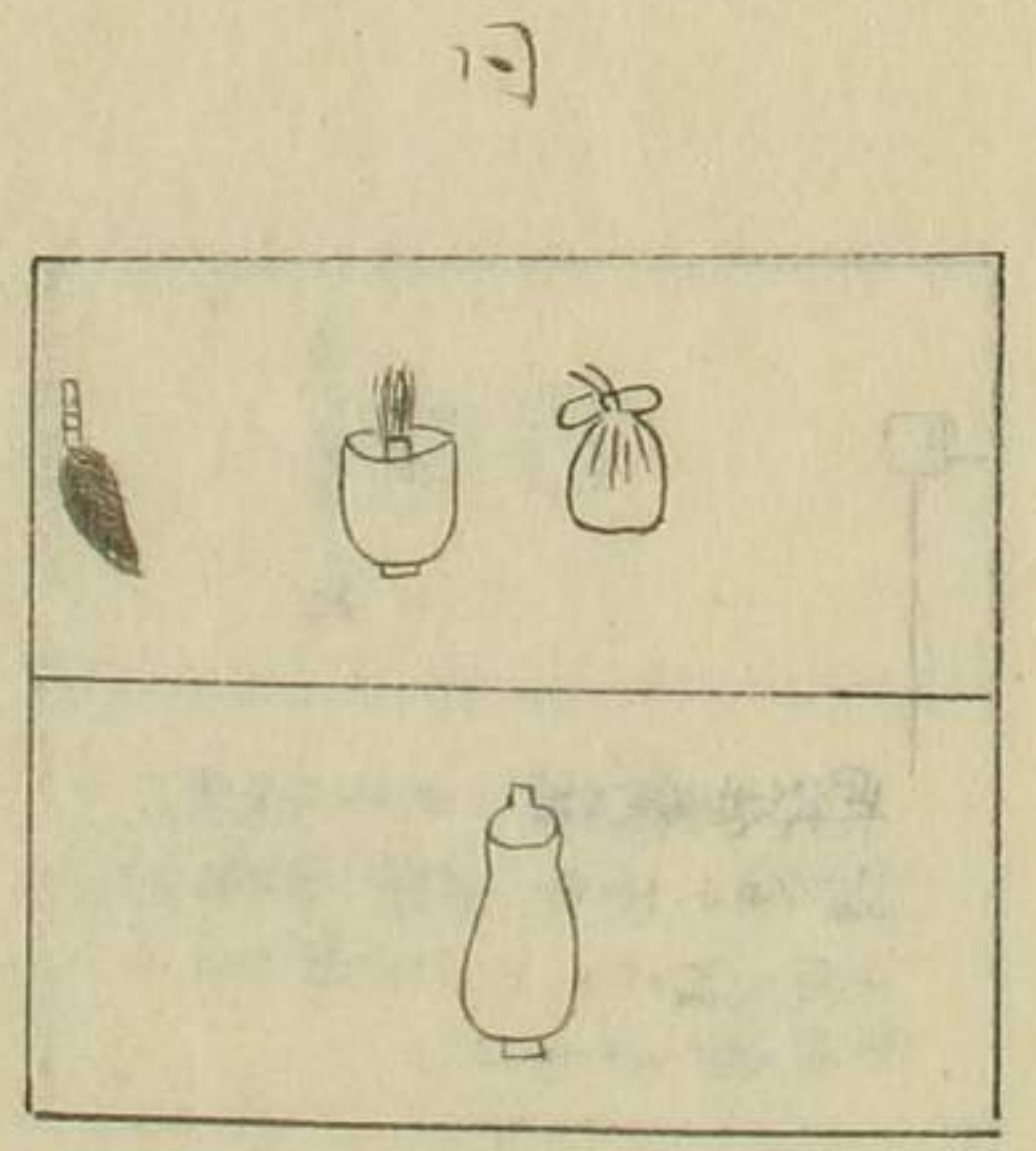
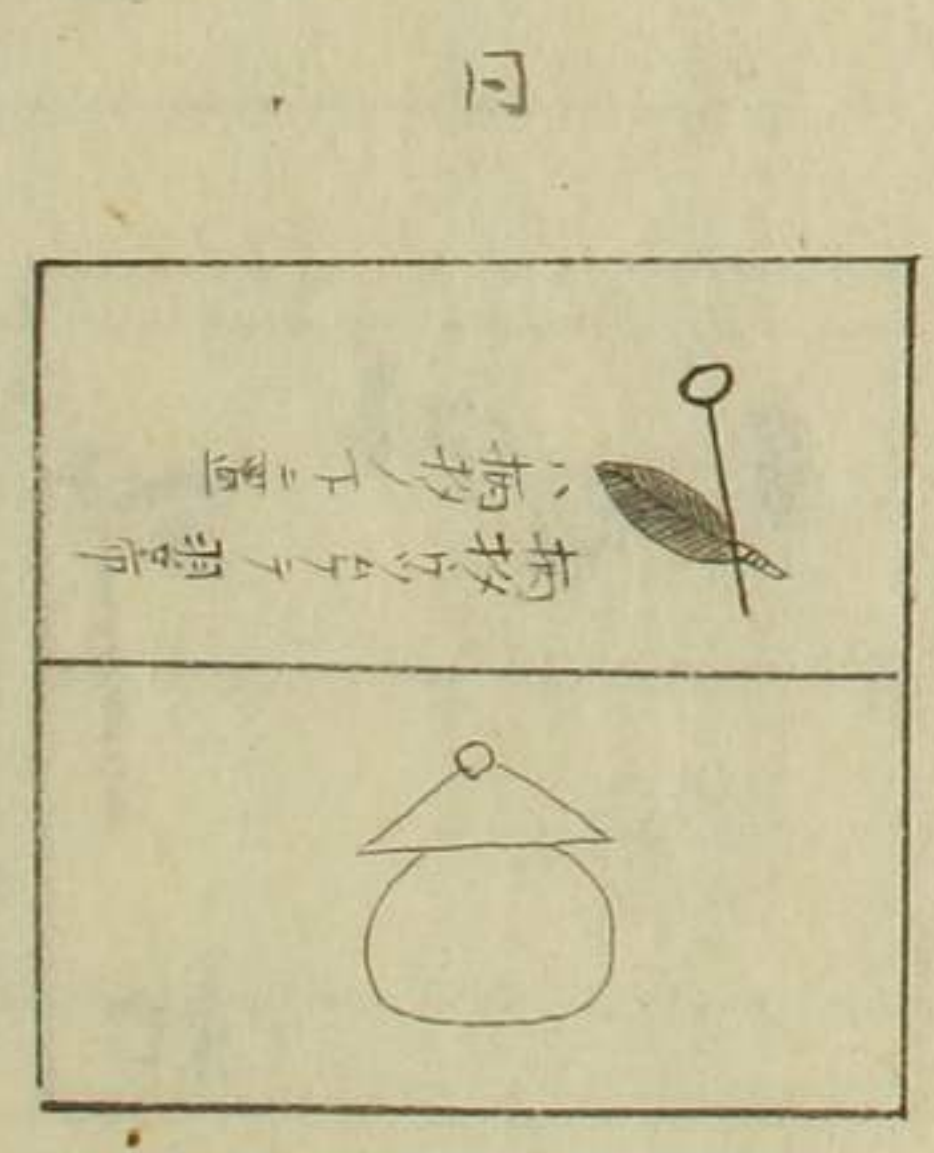
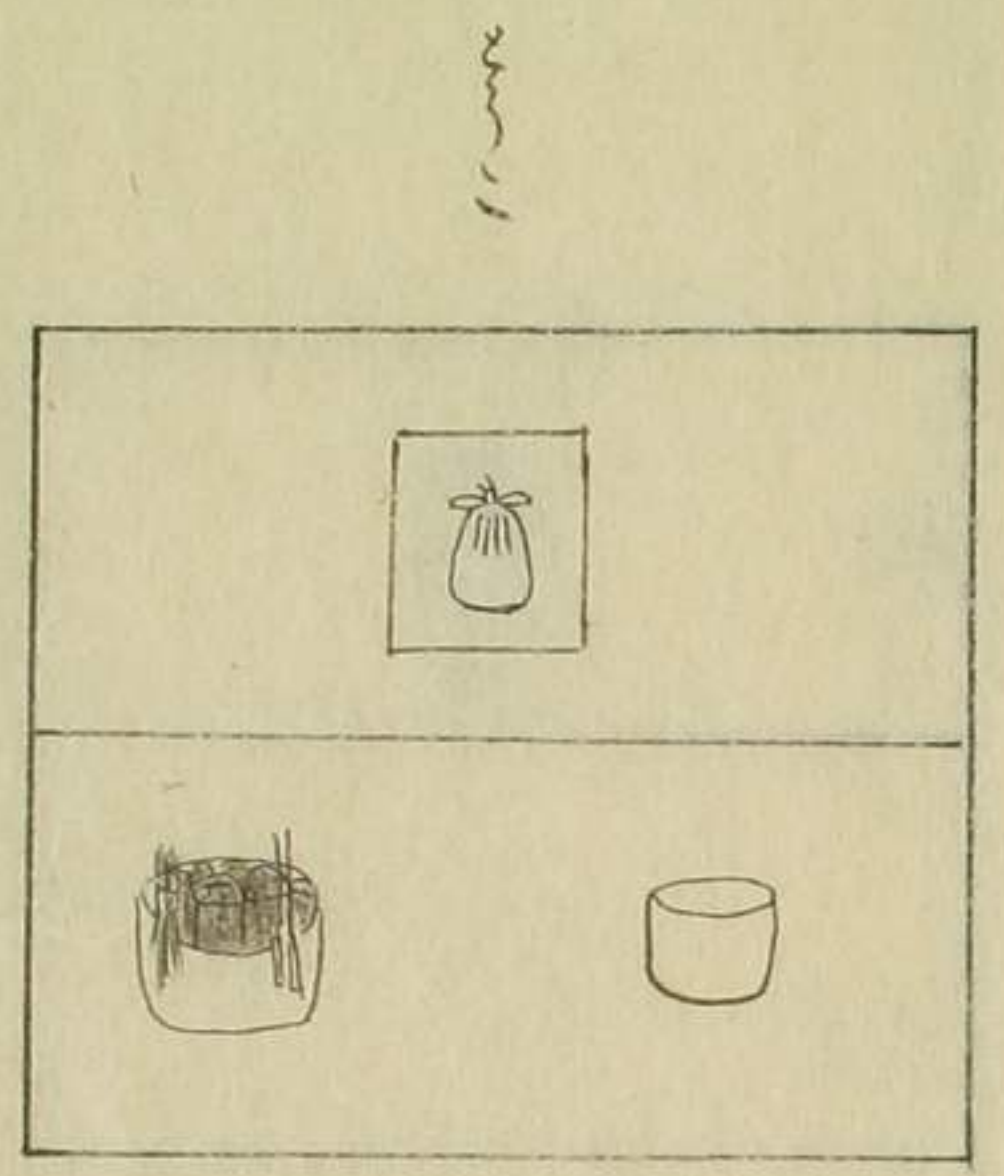
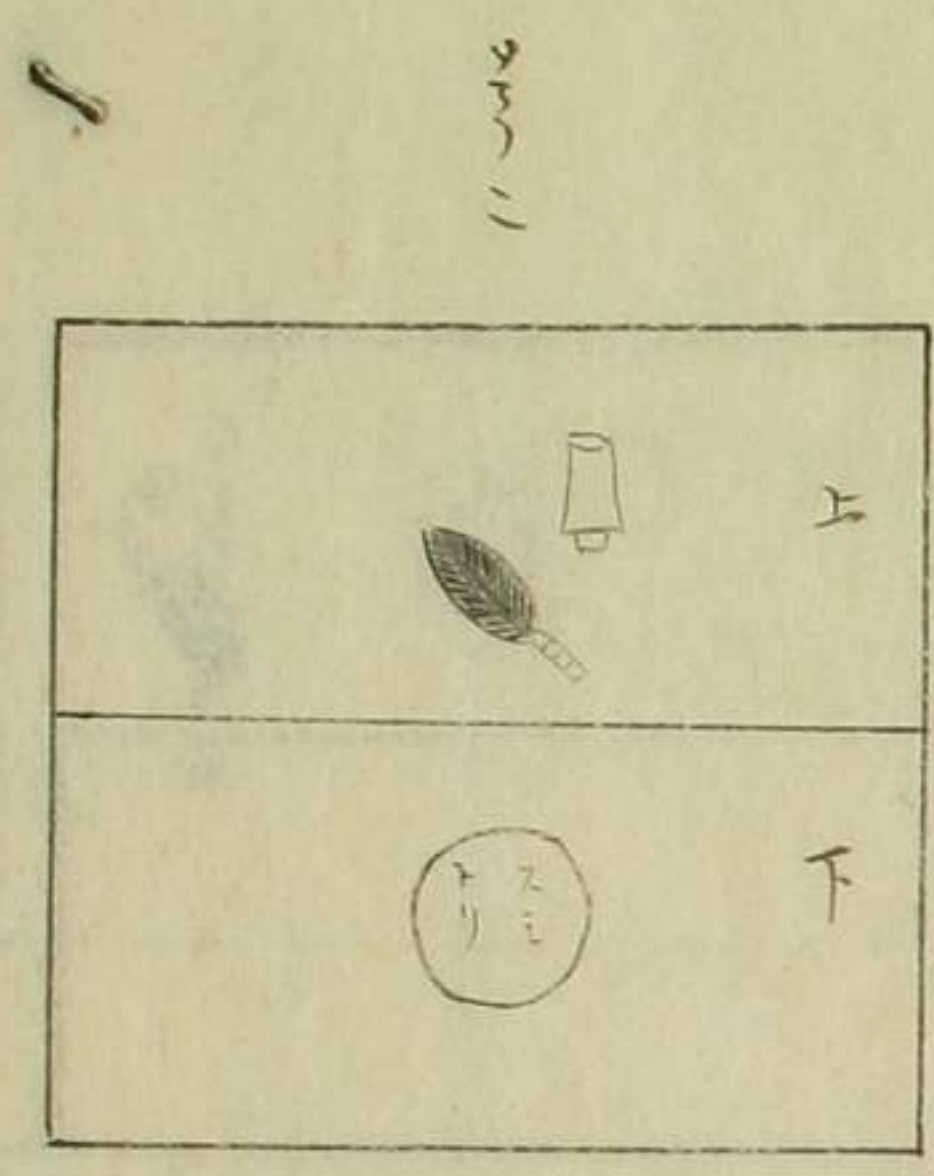
左ノ如キハ
ツリヨリ
明ケル方
ニノ指



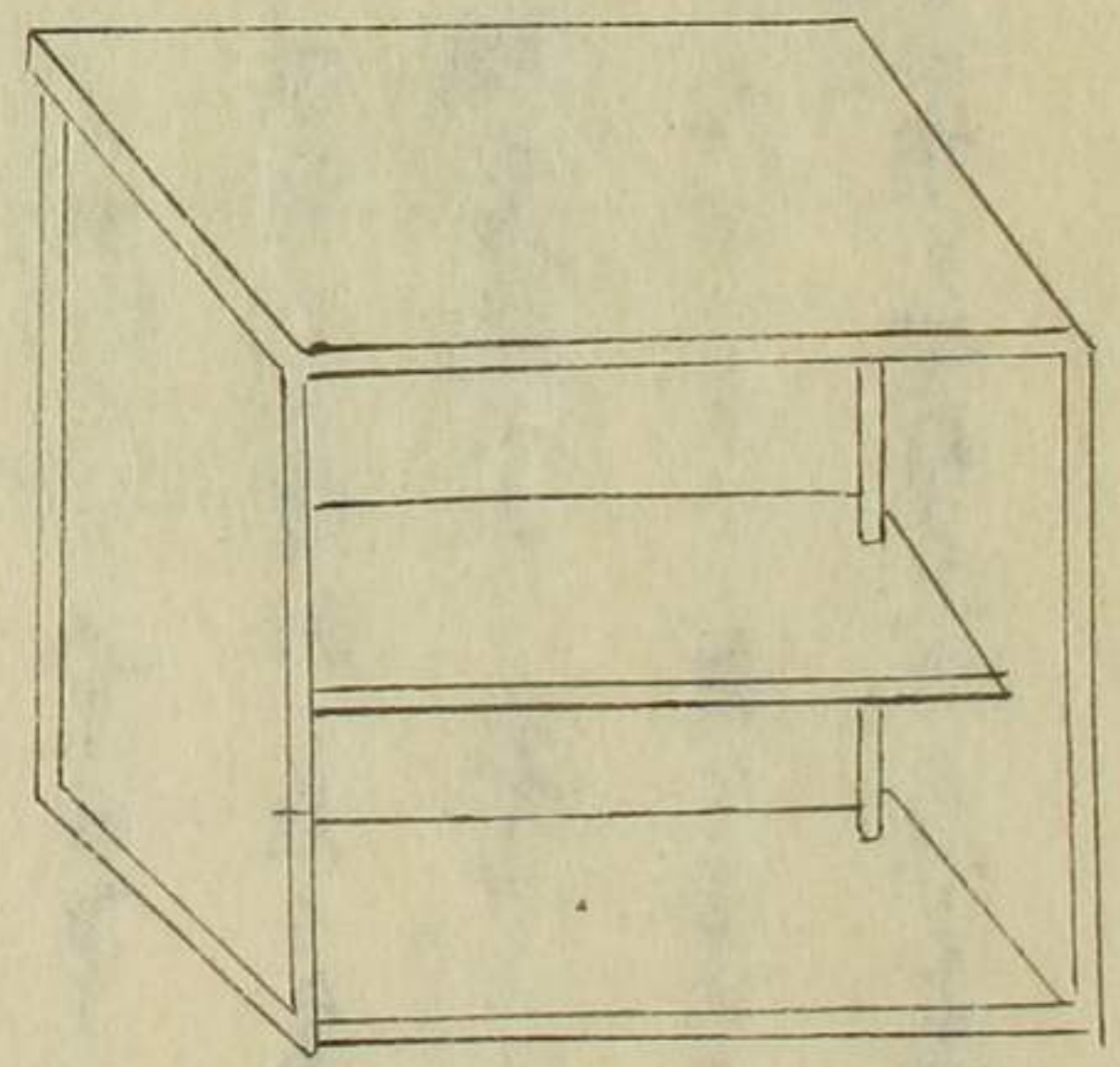
式本ノ押色
袋内ニモ
何ノ式
明ケル方

本式之袋棚
本式袋棚上
棚の金入ニ
本式之袋棚
金入ニ茶箱
五ノ有

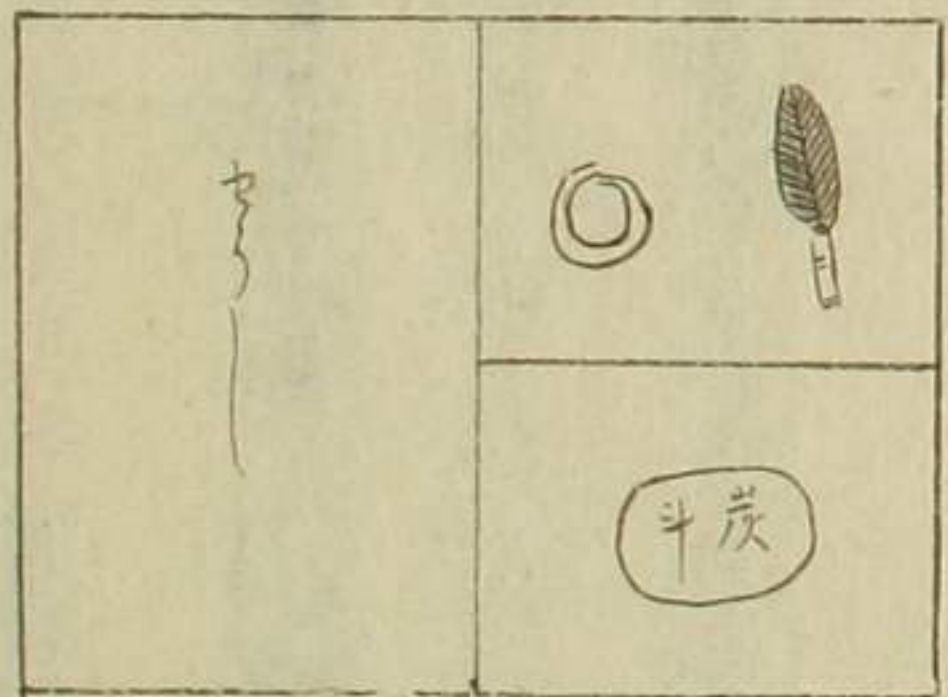
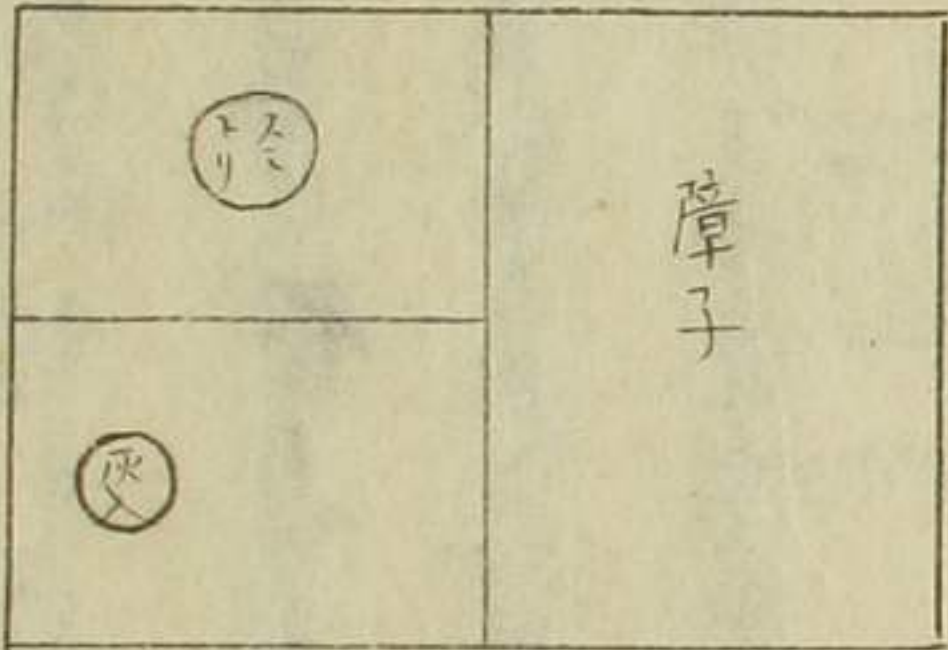
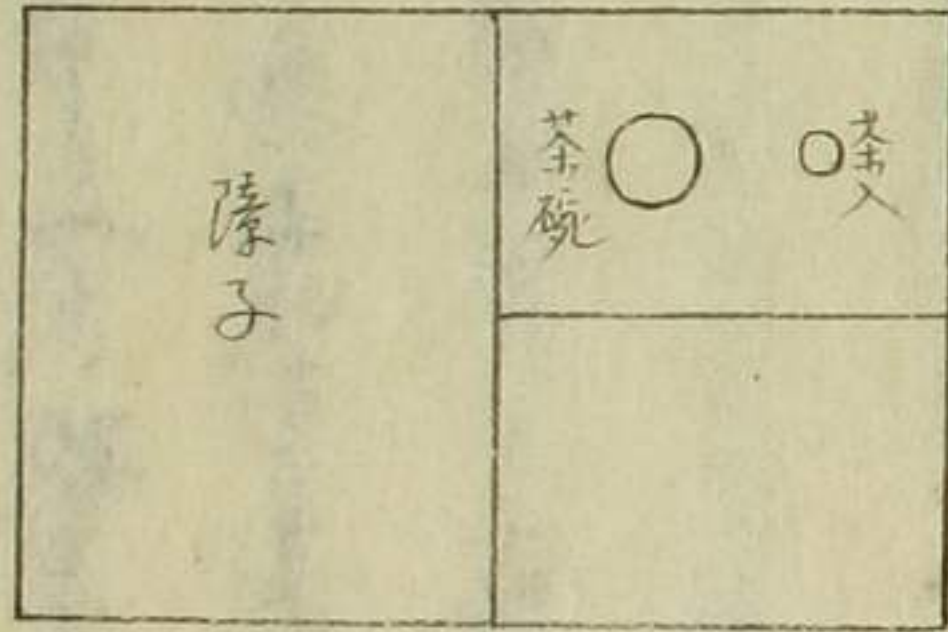




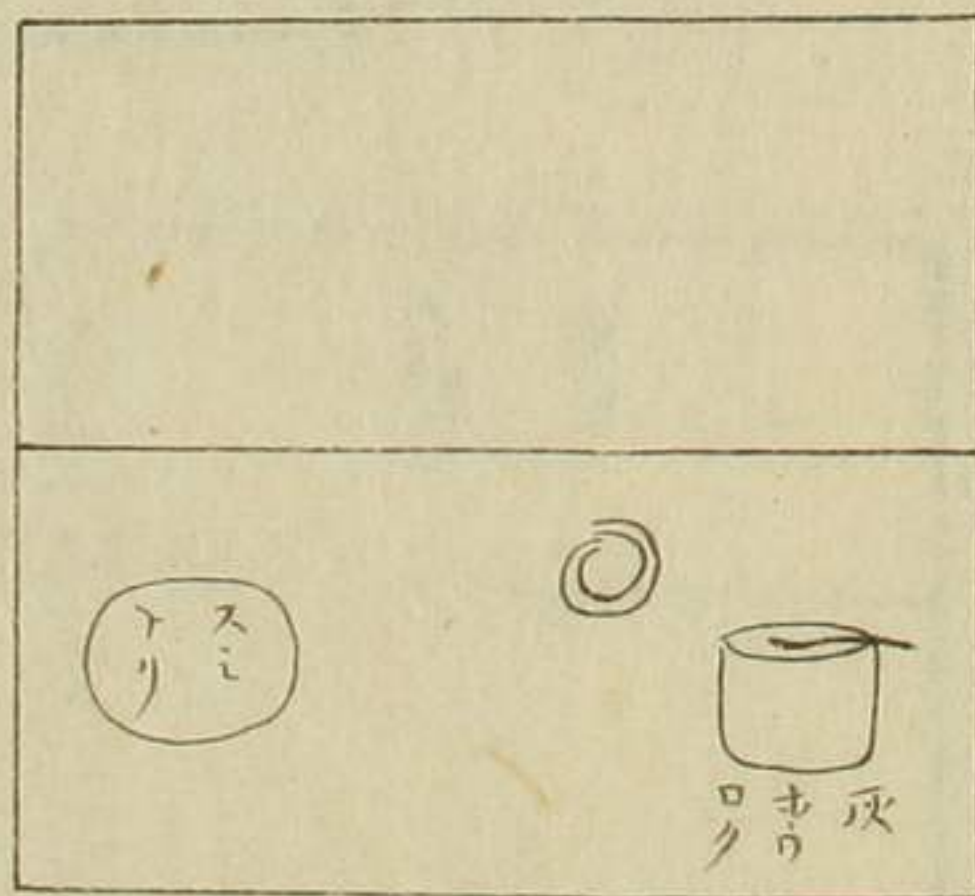
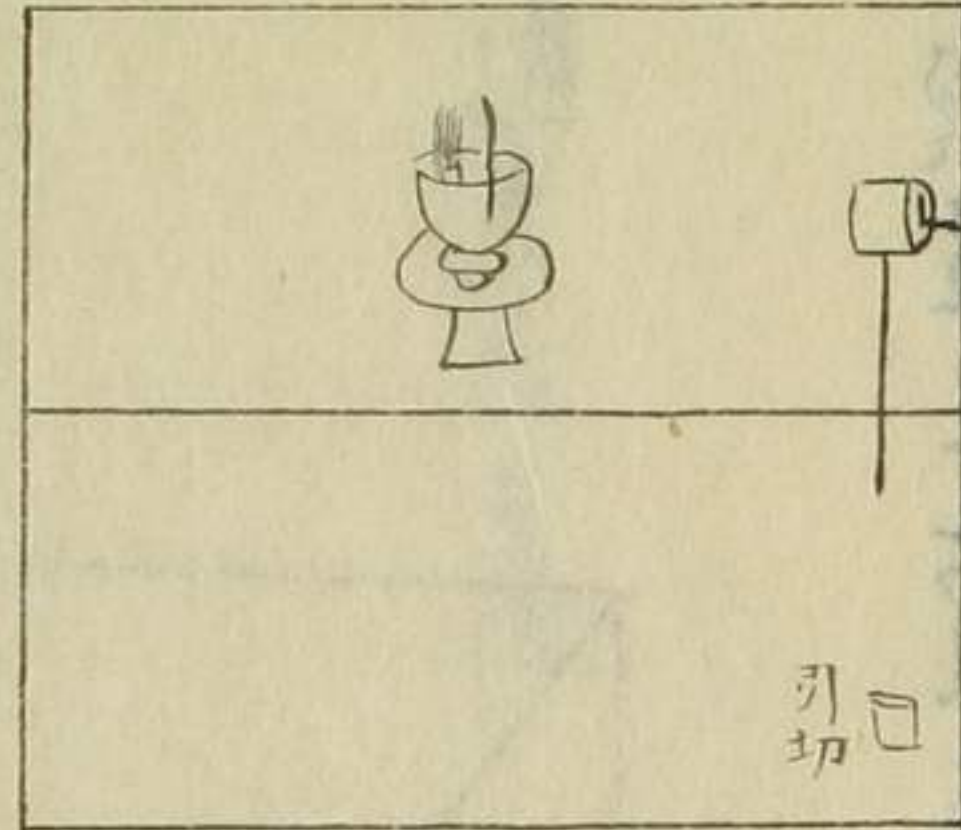
道厚の内子



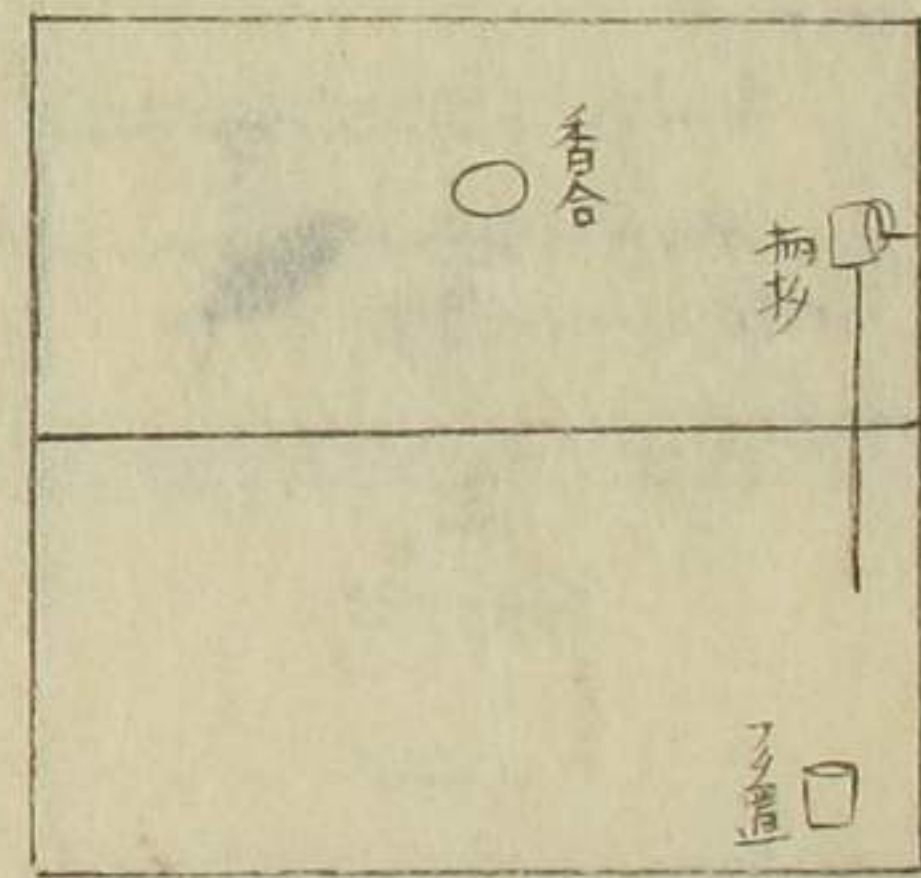
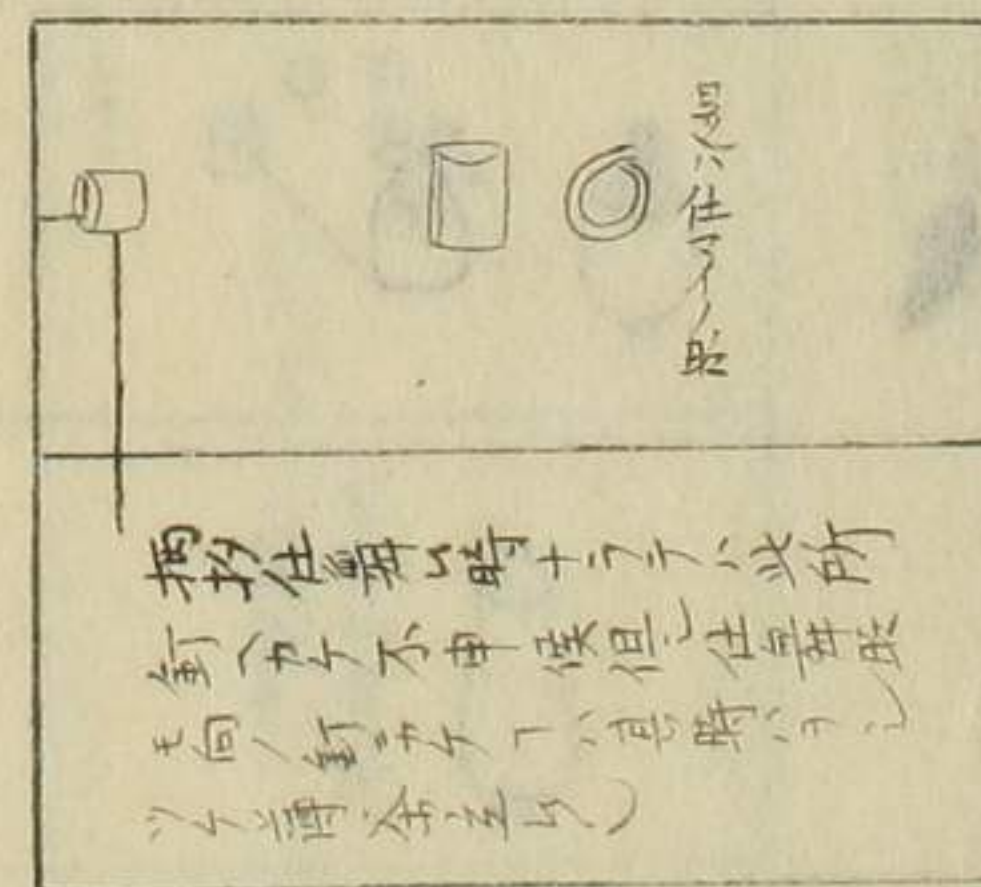
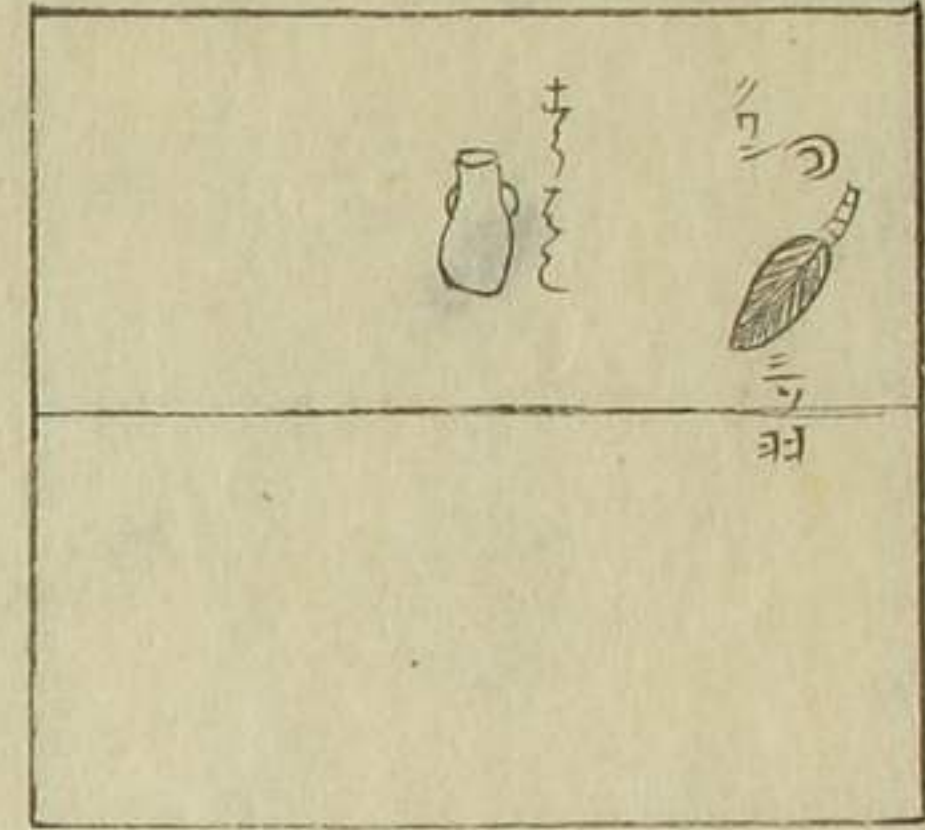
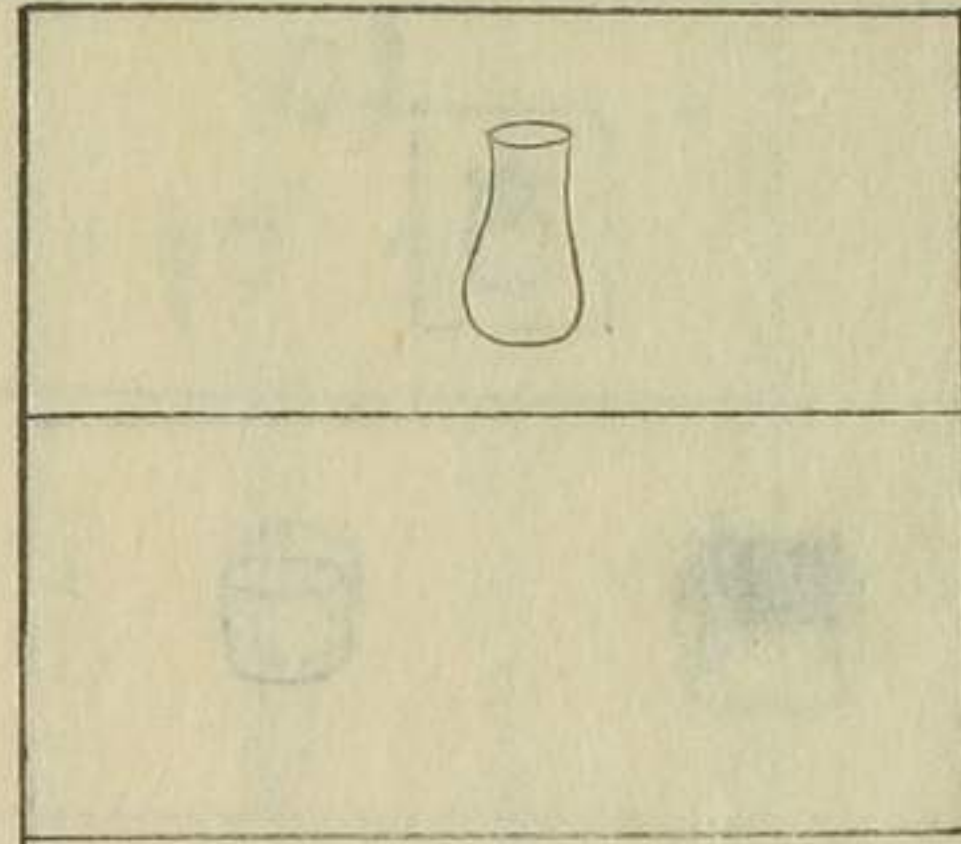
重名と何れか片取



二つに分る障子

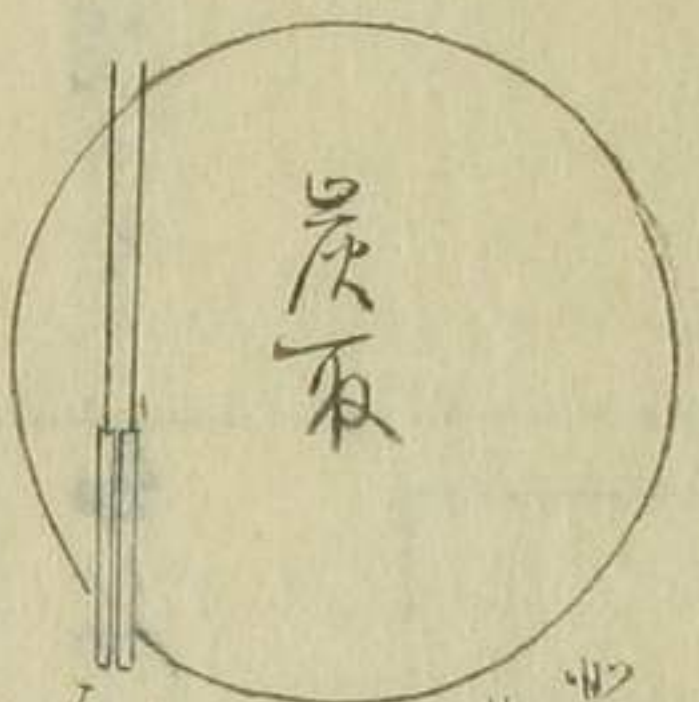


障子 二つに分る障子 引切 斗炭 味入

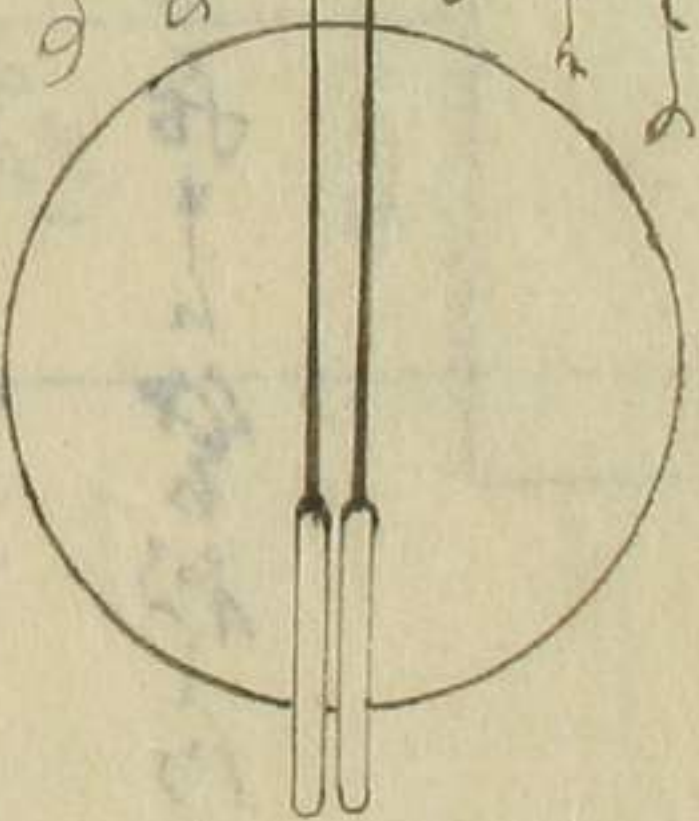


右の如く申すに重合して並べたり

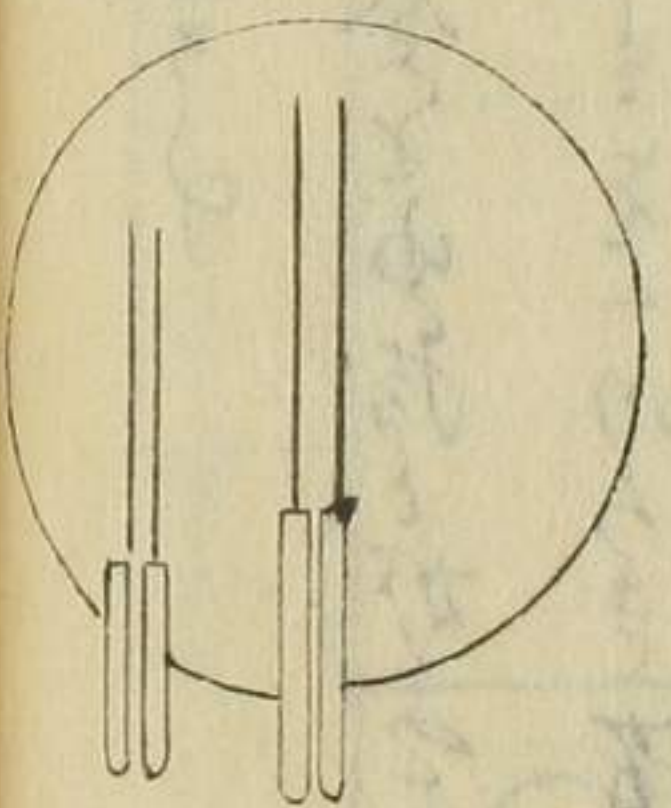
大なる一層申すに重合してつらつらの方の如くして並べたり
左の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり
右の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり
左の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり



此の如くして並べたり
重合したる方の上と下と重合して並べたり
右の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり



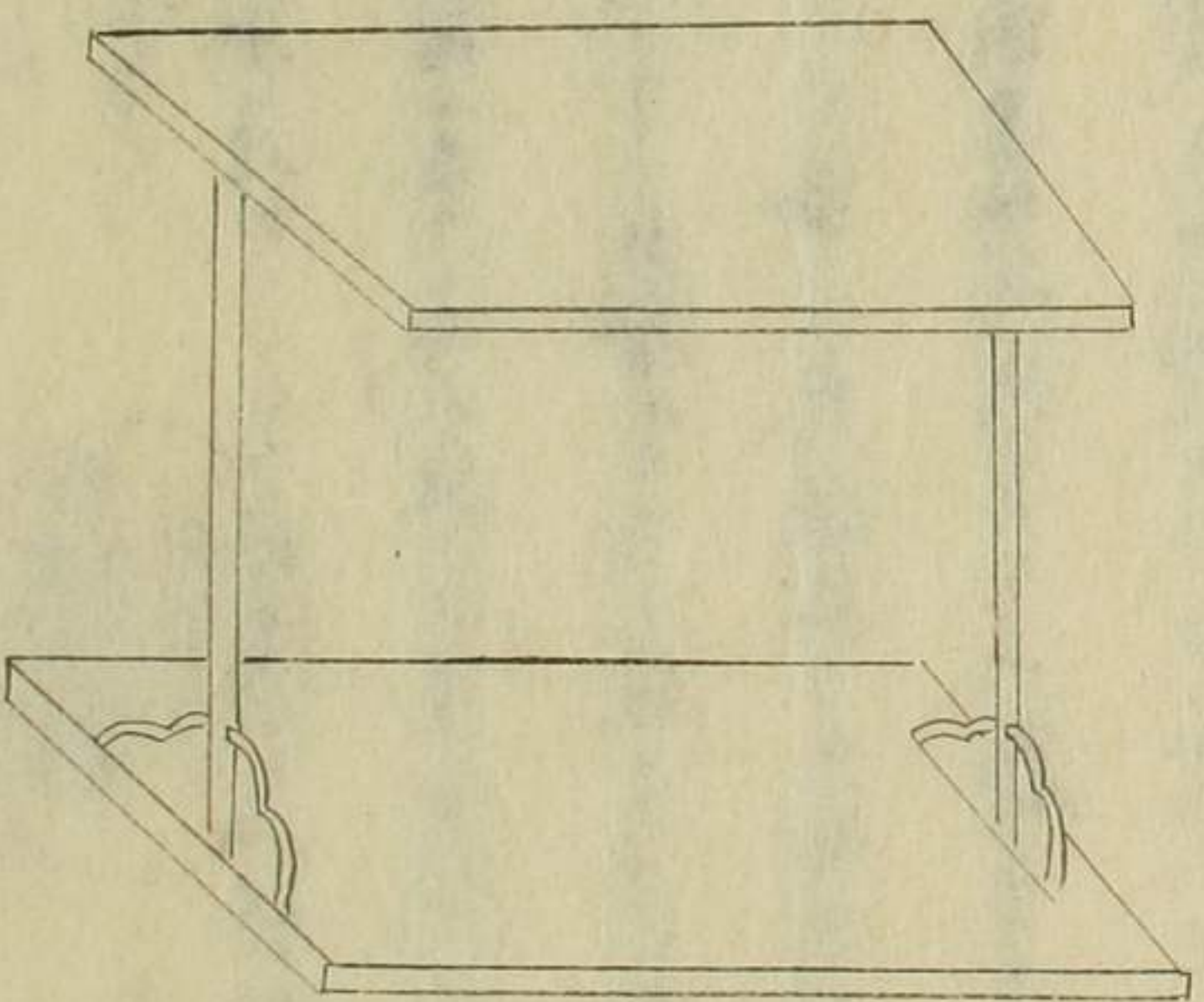
此の如くして並べたり



此の如くして並べたり
大なる一層申すに重合してつらつらの方の如くして並べたり
右の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり

及重合の如く並べたり

右の如く申すに重合してつらつらの方の如くして並べたり
左の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり
右の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり
左の如くつらつらの方の重合したる方の上と下と重合して並べたり
飾花を重合して並べたり



七十 無合意の物を入紙一書

物に意の風流と云ふ物に意をとりし事と云ふよりと物に意を合入を成す
然る物に意を合入二程にまきく様の中へ合入物に合入く様を成す物
合入の意を合入する物は一も物に一も意を合入する物に合入する
方と事とを合入する物と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する
物に合入する物と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物
合入する物と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物
合入する物と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物

十一 唐抄子風好のりり二方此の物に圓が重なり抄子と持てかゝる五書

唐抄子二つは月風好の中が重なり抄子と持てかゝる五書
抄子の風好と重なり唐抄子一本は細く柄の長きと云ふ本唐抄子と云ふ
唐抄子と持てかゝる五書と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物

一 紹政のりり二方此の物に圓が重なり抄子と持てかゝる五書

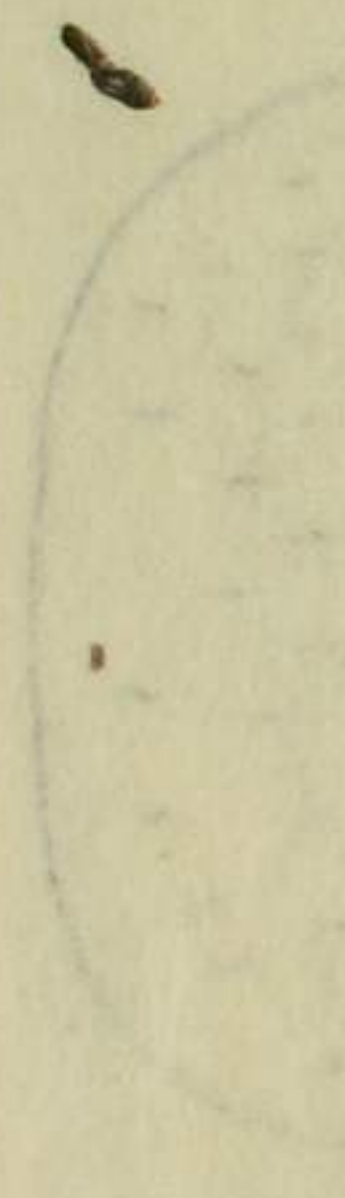
字書と唐抄子と持てかゝる五書と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物
のりりの物と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物
合入する物と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物

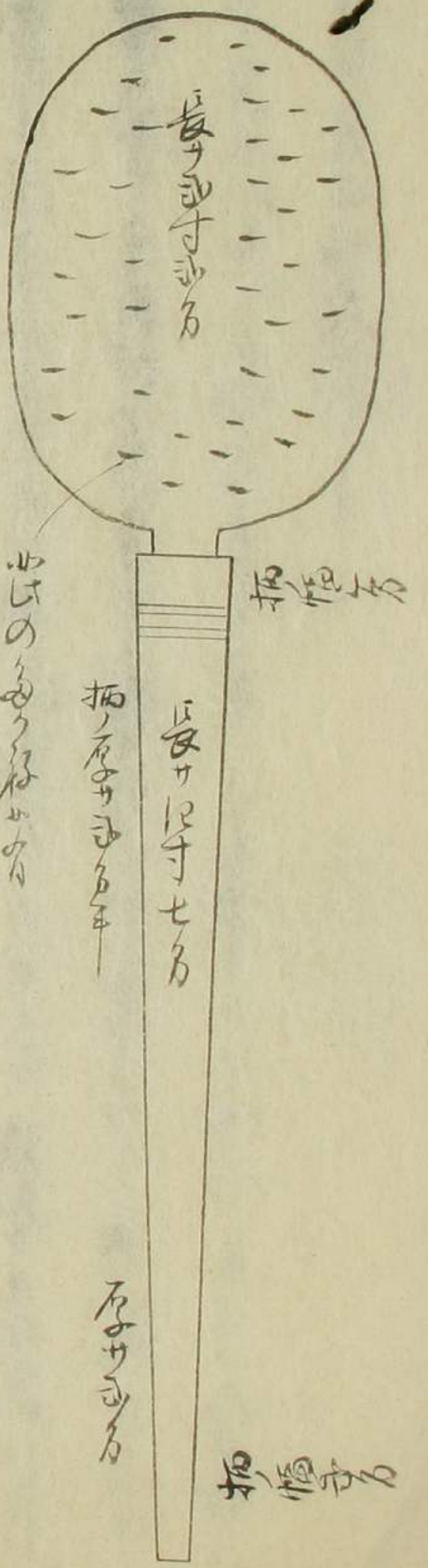
一 道安と唐抄子と持てかゝる五書と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物

合入する物と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物

一 織部と唐抄子と持てかゝる五書と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物

細き抄子と持てかゝる五書と云ふは又いふに合入する物と云ふは合入する物





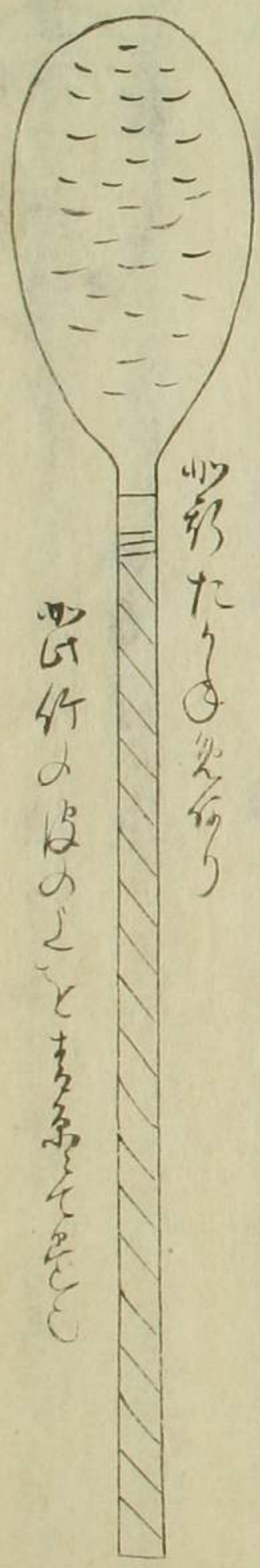
- 一 扇が厚くても利休は赤い扇の柄をくすめて
- 一 道安は扇の柄をくすめて柄の皮をくすめて
- 一 下まきまりの扇

七三

扇が厚くても利休は赤い扇の柄をくすめて
 道安は扇の柄をくすめて柄の皮をくすめて
 下まきまりの扇

扇の厚くても利休は赤い扇の柄をくすめて
 道安は扇の柄をくすめて柄の皮をくすめて
 下まきまりの扇

道安并石列灰おろし



おろしの太さ一寸五分

此に在る内装のなる所をくす切て更らるる所白装にて入れつけせと
しつらるる也

五 右の扉に花入とありて事の花入を置く所扉の上の扉より直に板と
持出の扉とを花入とありて事

六 右の扉より花入の扉の板を先取りして後には板と持出の扉と
持申より利休板と并置し内装板より内装板とありて事

七 右の扉の板より花入の板とありて事
右の扉の板より花入の板とありて事
右の扉の板より花入の板とありて事

八 右の扉の板より花入の板とありて事
右の扉の板より花入の板とありて事
右の扉の板より花入の板とありて事

金合

是又利休道よりとありて事
右の扉の板より花入の板とありて事
右の扉の板より花入の板とありて事

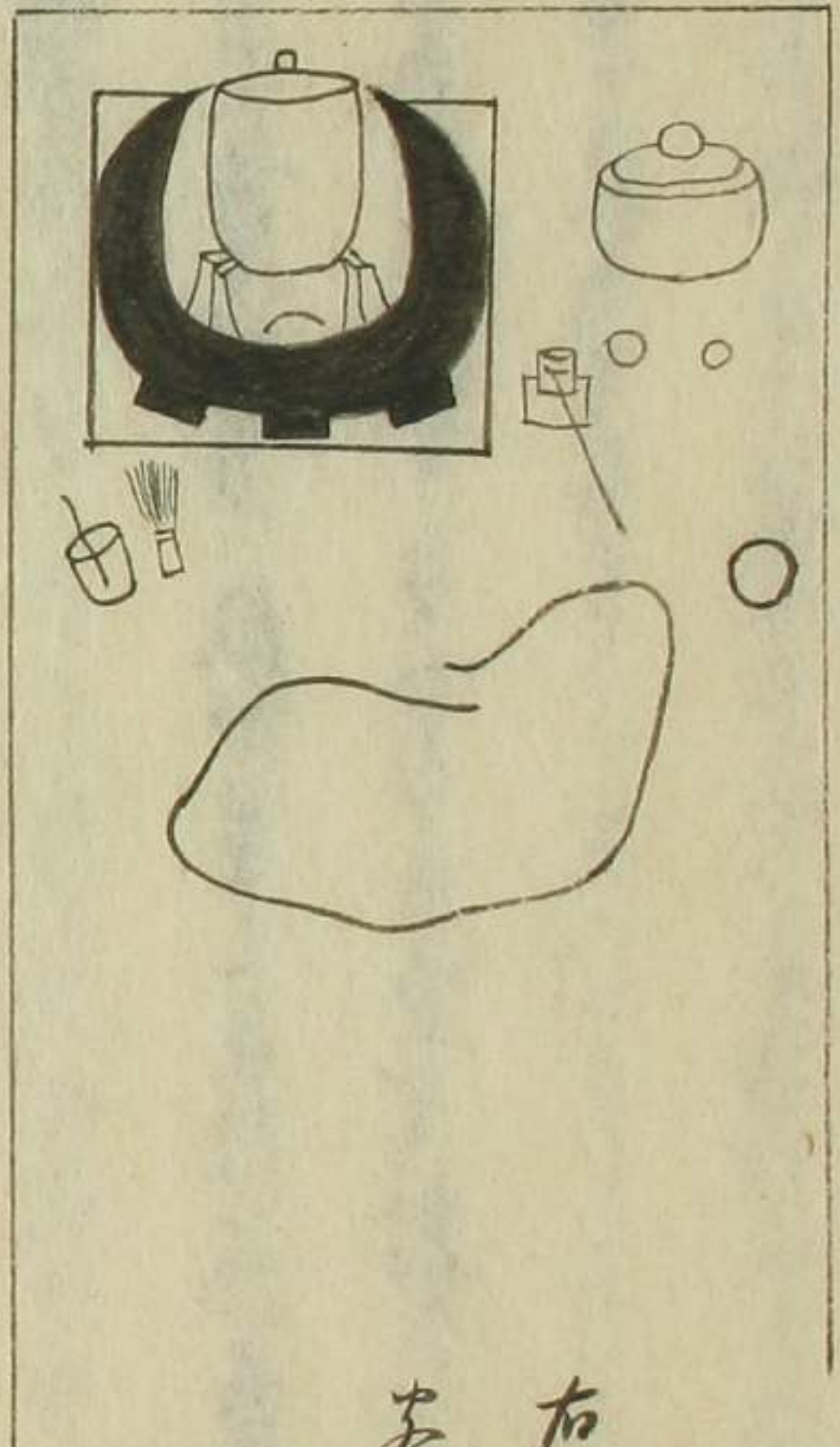
九 右の扉の板より花入の板とありて事

右の扉の板より花入の板とありて事
右の扉の板より花入の板とありて事
右の扉の板より花入の板とありて事

十 右の扉の板より花入の板とありて事

右の扉の板より花入の板とありて事

日月好
礼を為

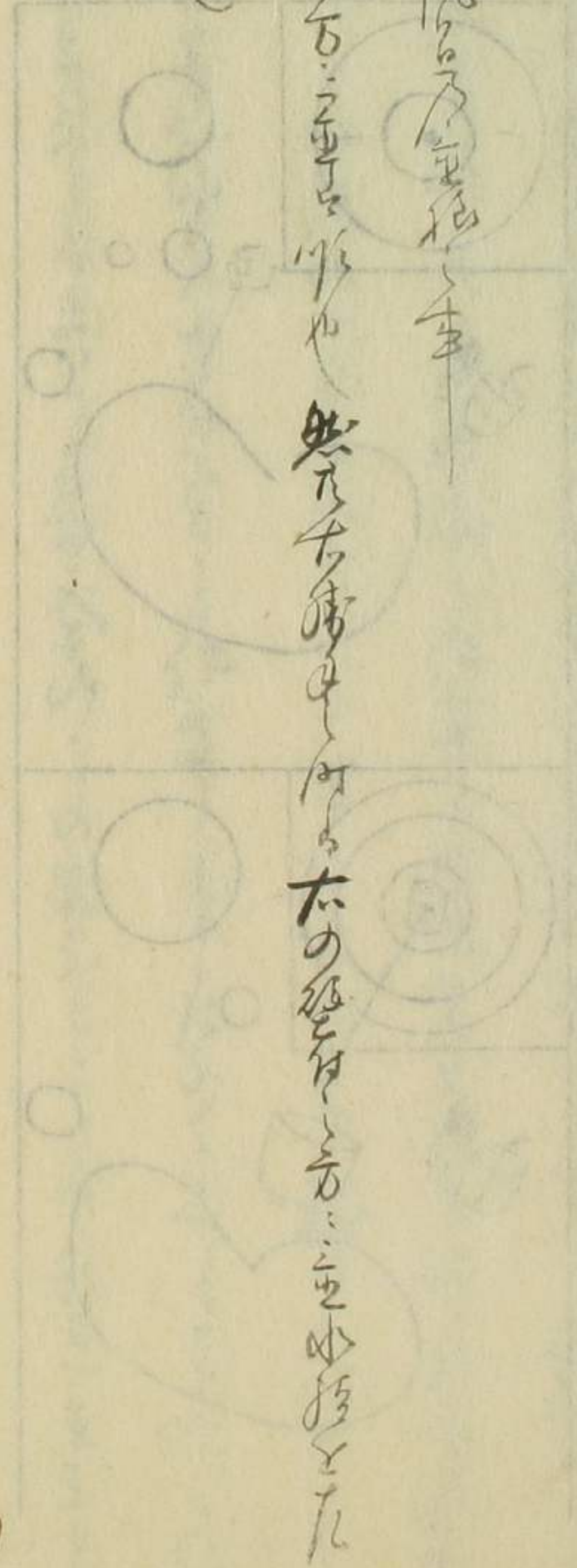


右側より見る
左側より見る

全

右側より見る

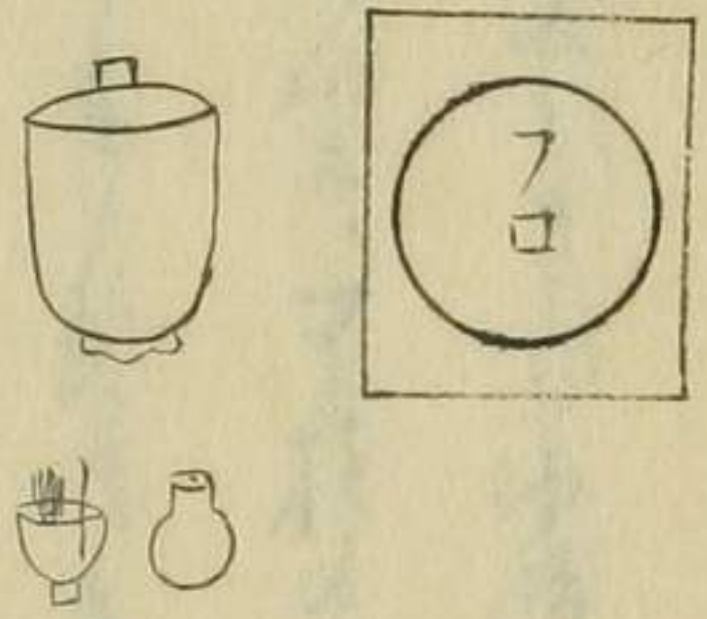
廻りをよく見る
然るに右側より見る
乃ち左側より見る

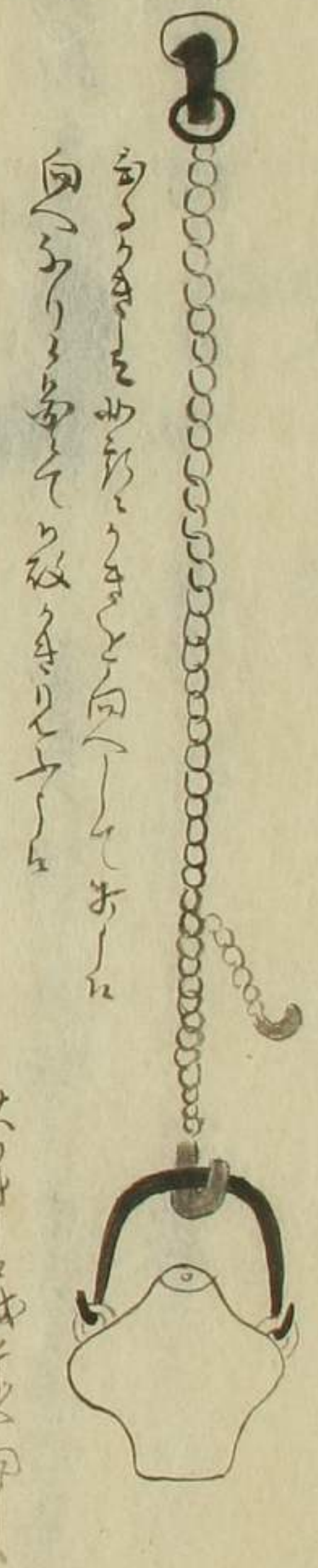


全

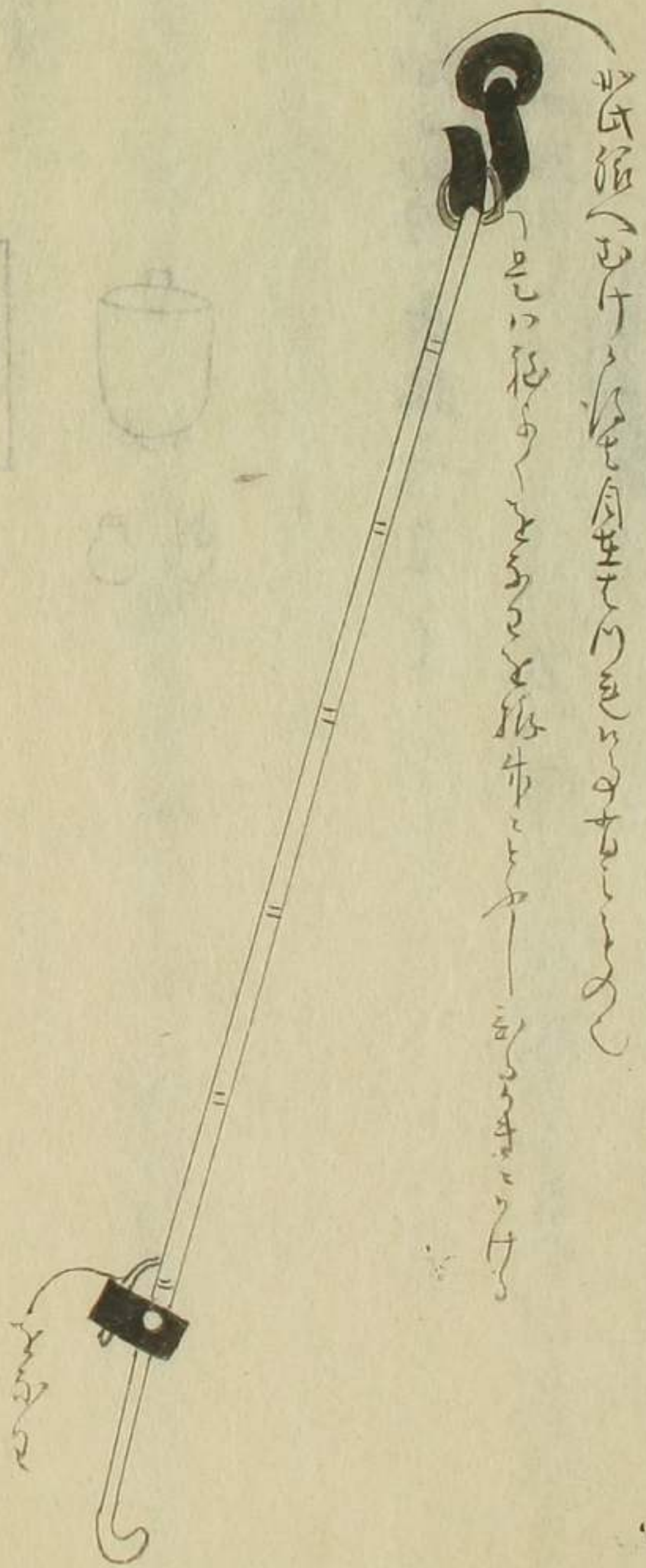
右側より見る

廻りをよく見る
然るに右側より見る
乃ち左側より見る
自在に作るに要あり
自在に作るに要あり

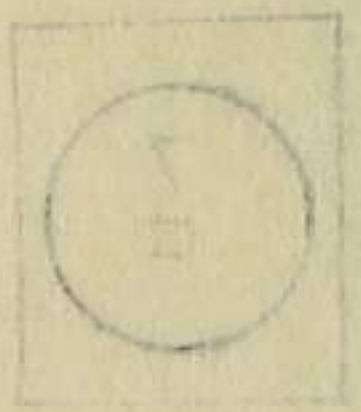




大つたての鉄の鎖



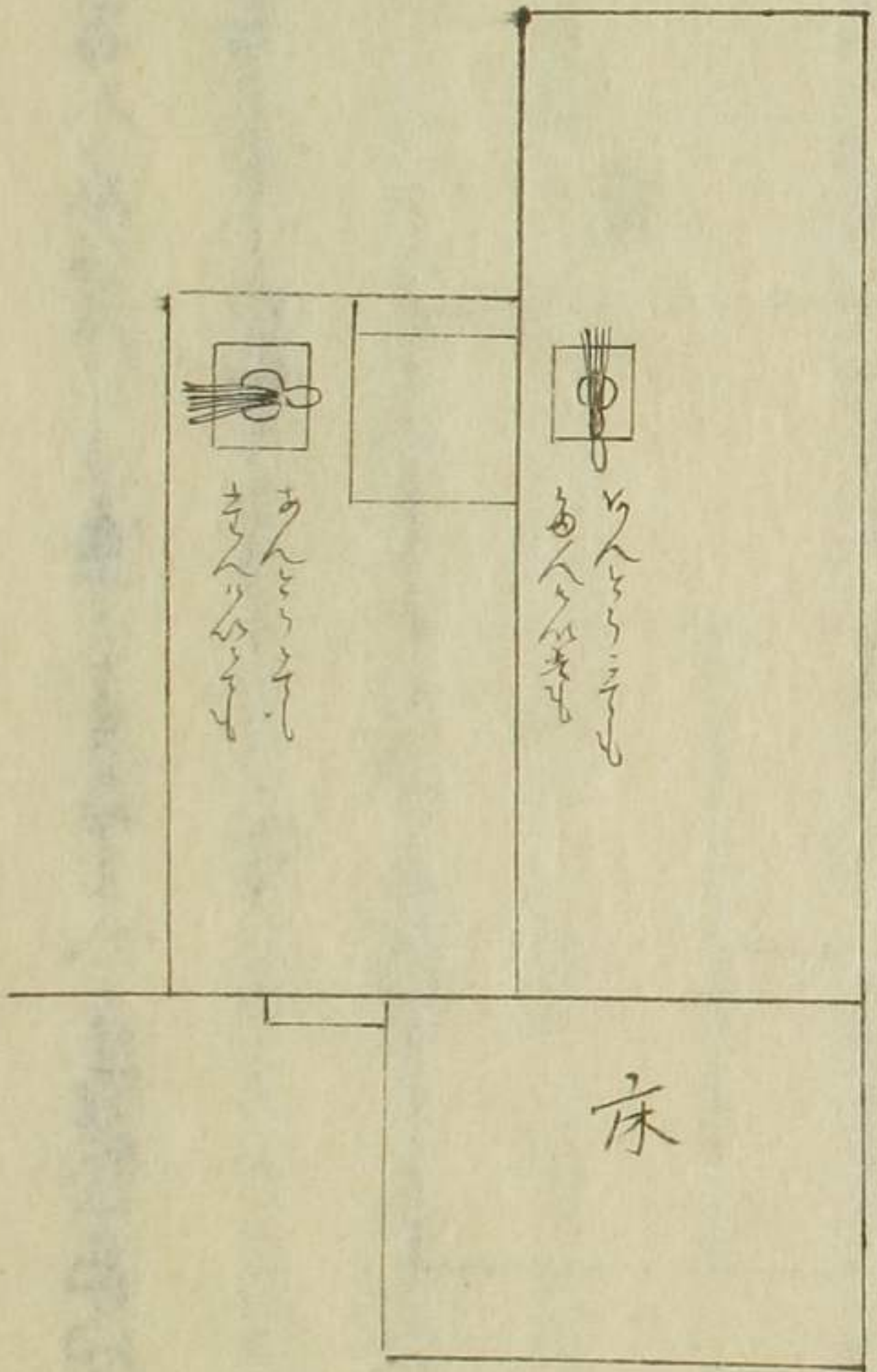
鉄の鎖 (大つたての鉄の鎖)



五

一 聖平の御人あひしり 重部の方中根の穴のまきよふて朝か
 まし之戸方あふとまらち 中根をうけたりも 重く事

あんとくまへんたに 中根の川舟の派が右の方か重く朝まきよふて
 舟かあふとまらちも 重く事 一 聖平の御人あひしり
 一 聖平の御人あひしり



床

あんとくまへんた

あんとくまへんた

水桶の形

陰桶と蓋の形

蓋の形

蓋

厚さ二分半

取手穴入

取手穴ノ形



蓋

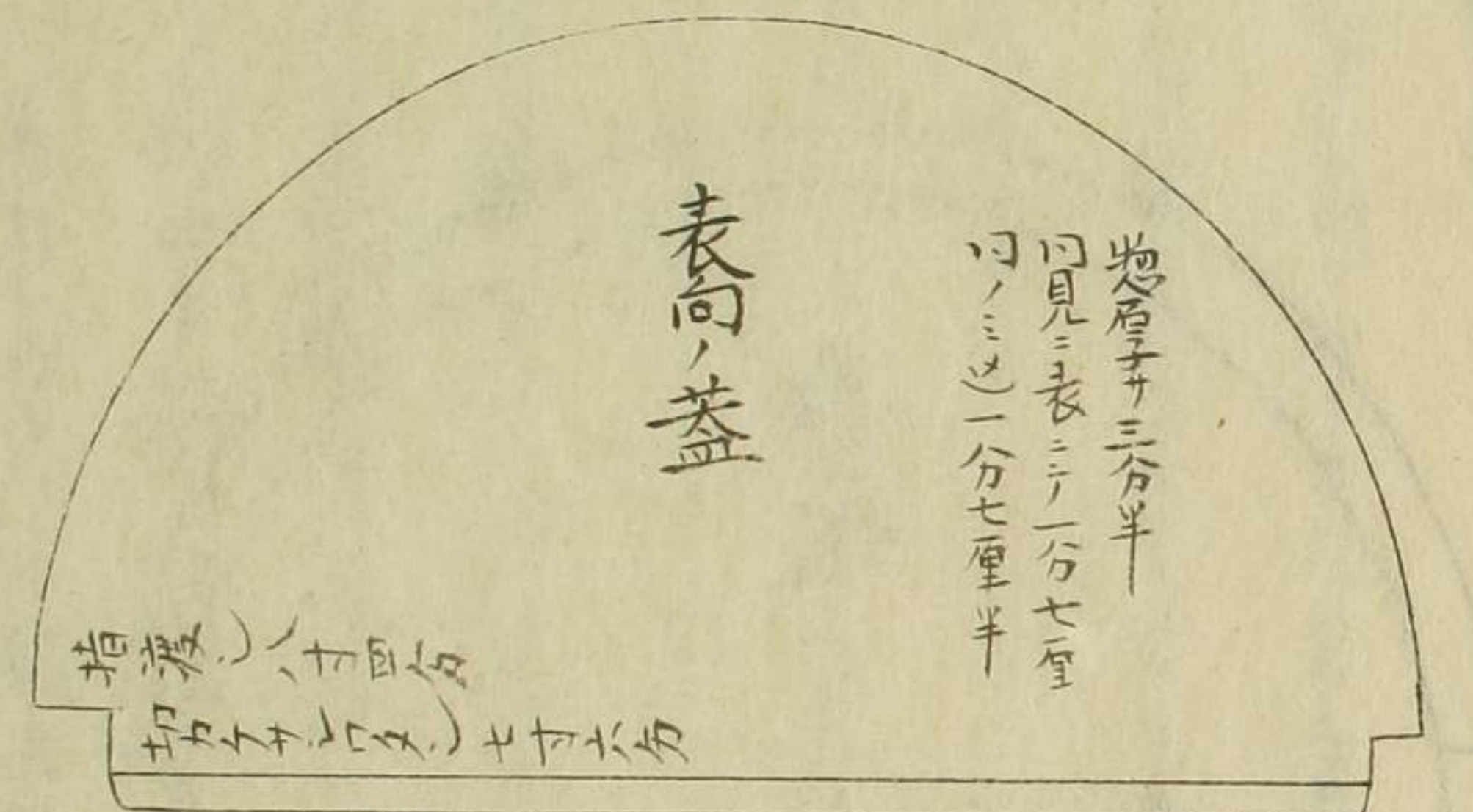
桶の形

桶の形

桶の形

桶の形

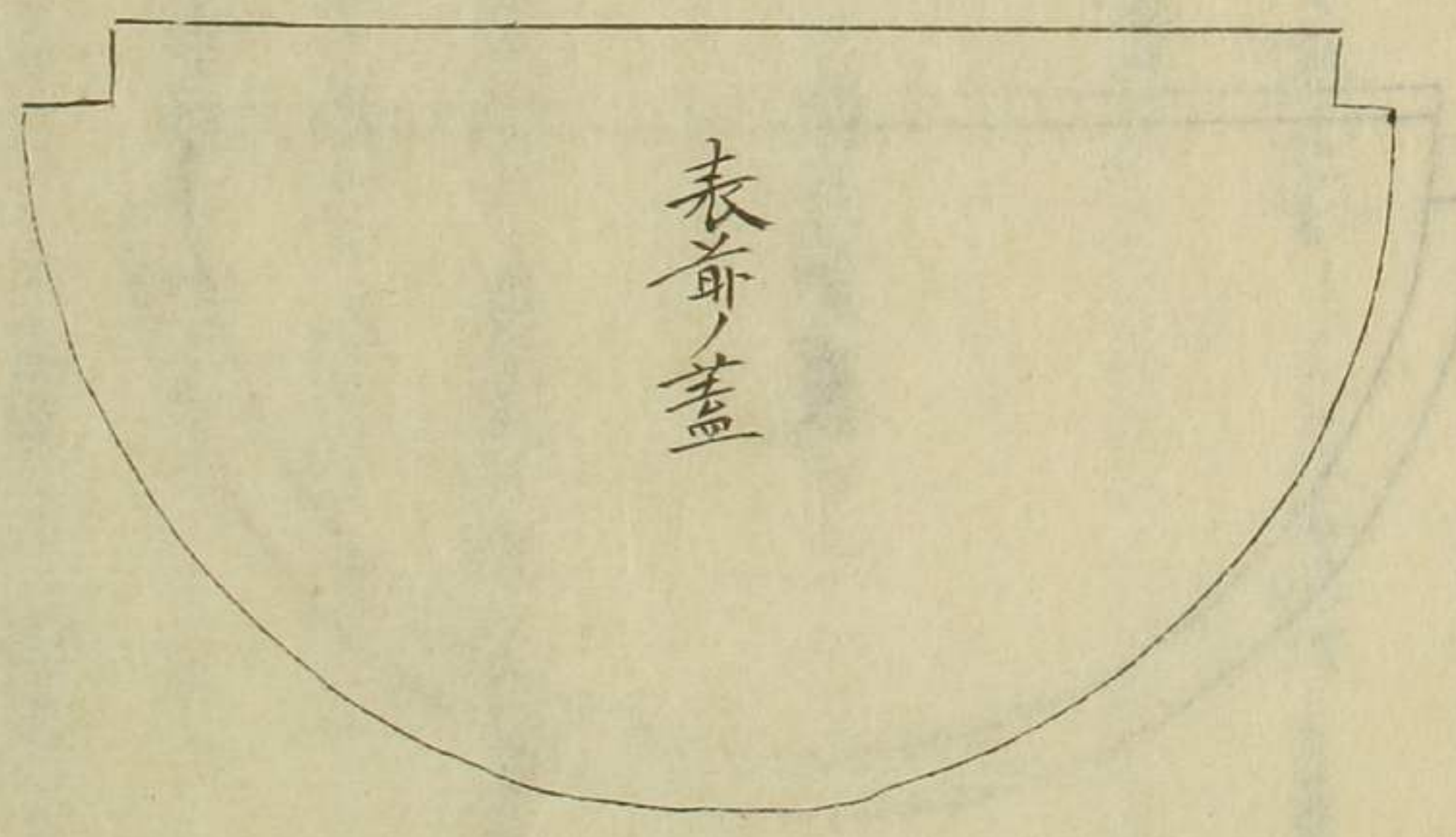
桶の形



表向ノ蓋

物厚サ三寸半
口見ニ表ニ一分七厘
口ノミ込一分七厘半

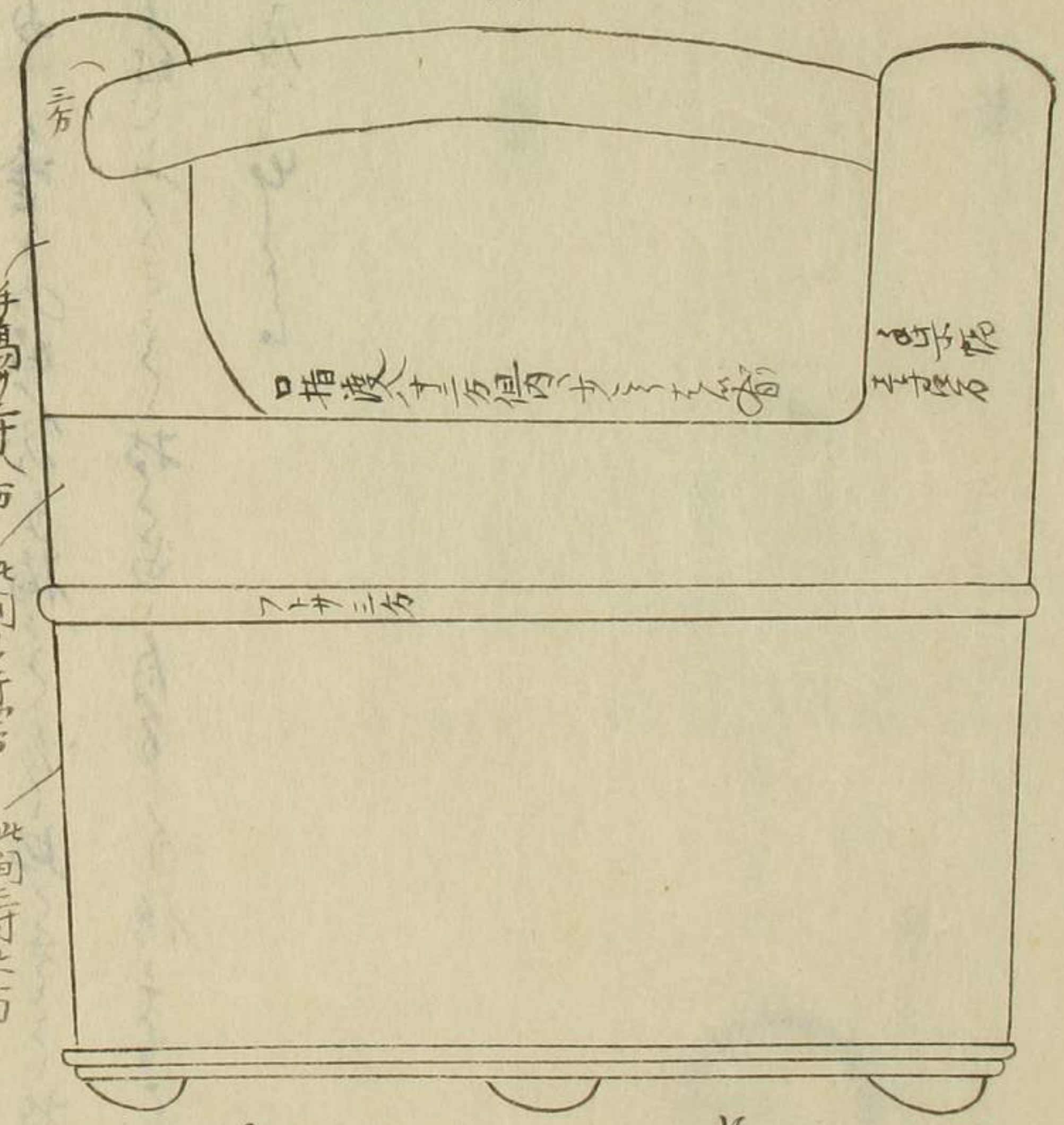
指渡(八寸四角)
切方(五寸)七寸六分



表前ノ蓋

真の子桶

ケ桶三寸
子六分物厚サ三分



寸幅四寸七分

三分

手高二寸八分

此間三寸四分

此間三寸七分

口指渡(十三寸四角)寸三分

口寸四
寸三分

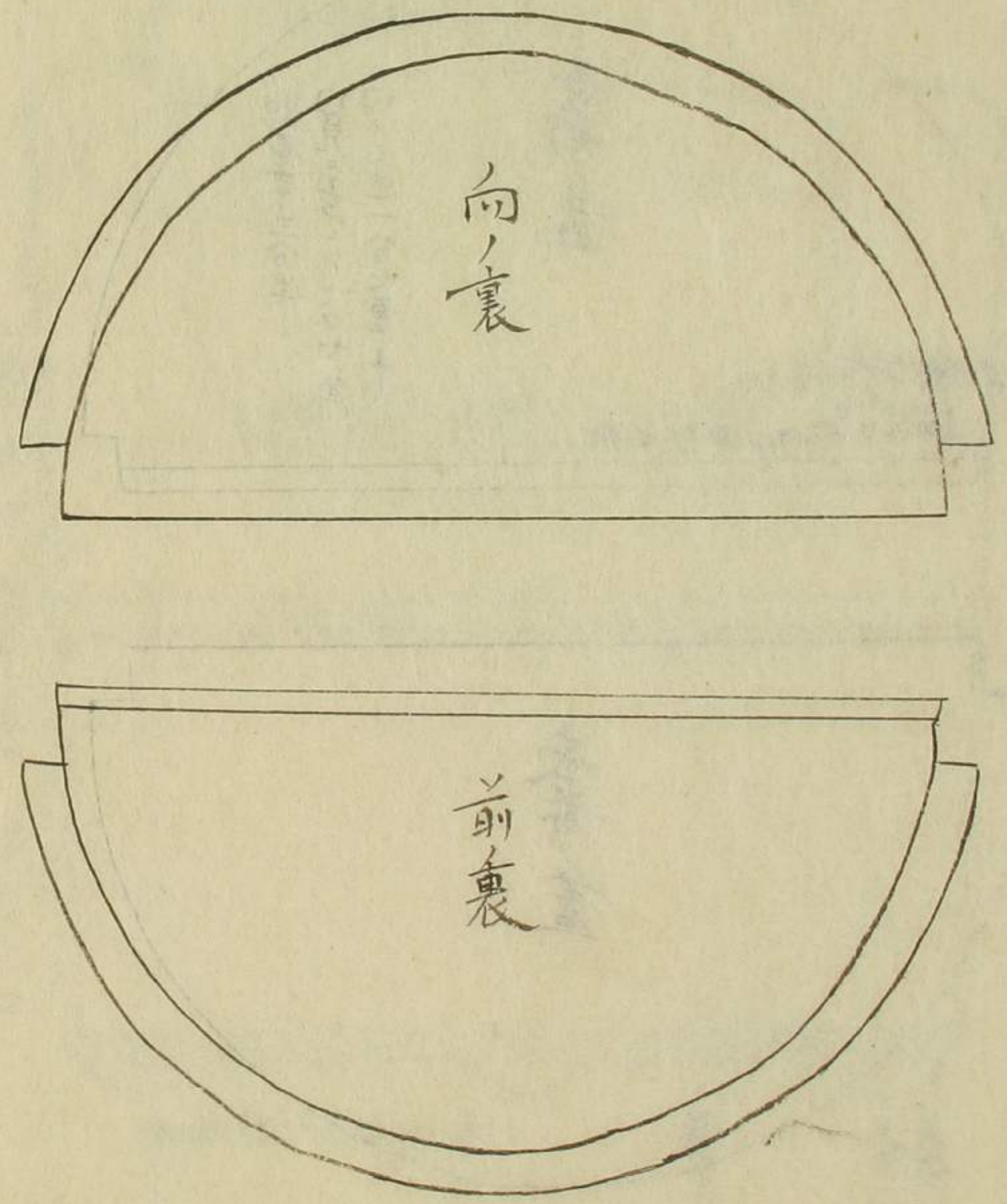
寸幅三寸

口指渡(一丈二寸)

桶下寸五分

口幅三寸
高三寸

外口寸五寸七分



九四

茶入の蓋の巾は、向の紐の巾より又厚は時多し。此の紐は、少くても、蓋の巾より、

茶入の蓋の巾は、向の紐の巾より又厚は時多し。此の紐は、少くても、蓋の巾より、

九五

茶入の蓋の巾は、向の紐の巾より又厚は時多し。此の紐は、少くても、蓋の巾より、

九六

茶入の蓋の巾は、向の紐の巾より又厚は時多し。此の紐は、少くても、蓋の巾より、

心は紅く紅く紅く

東の海は紅く紅く紅く 紅く紅く紅く 紅く紅く紅く 紅く紅く紅く

中流に紅く紅く紅く 紅く紅く紅く 紅く紅く紅く 紅く紅く紅く

紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く

紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く

紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く 紅く紅く

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like '紅く' and '中流'.

